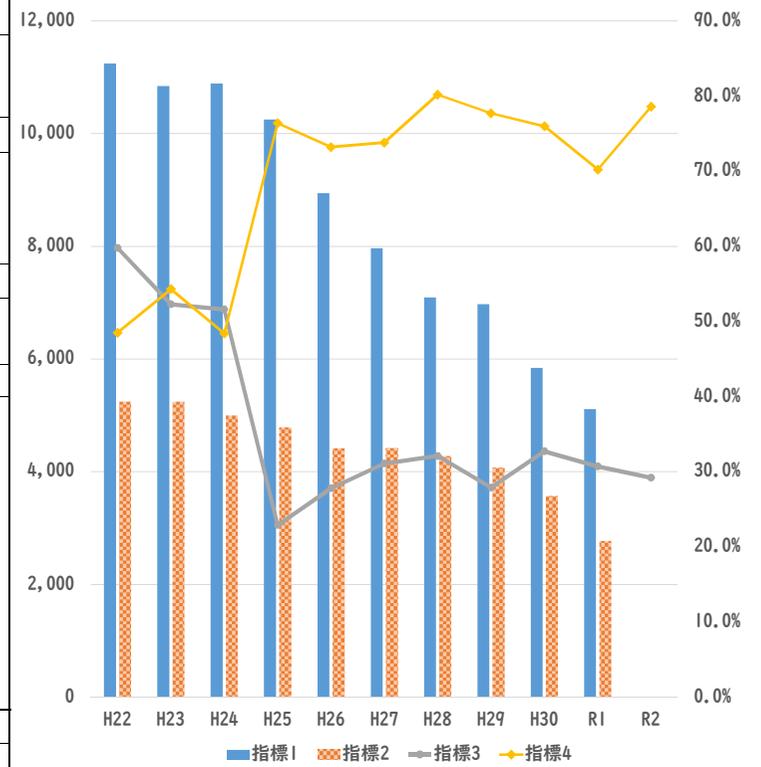


資料編目次

【1】東播磨地域ビジョン取組内容の検証と評価	
検証1・・・心地いいまち	51
検証2・・・楽しいまち	55
検証3・・・美しいまち	59
検証4・・・力強いまち	63
【2】（東播磨地域に暮らす・通勤する・通学する）	
若者アンケート調査結果（概要）	67
問1 東播磨地域に住んでいて良かったと思うこと	68
問2 あなたが思う東播磨地域の魅力	69
問3 現時点で、あなたが思う東播磨地域の理想の姿	70
問4 理想の姿に必要なキーワード	71
問5 30年後、あなたが生活をし、また働いている場所	72
問6 東播磨以外のどこの地域で生活をし、また働いていますか	72
問7 30年後、あなたは誰と一緒に暮らしていますか	73
問8-1 30年後、東播磨地域はどのような姿になっていると思いますか	74
問8-2 30年後に夢見る、こうしたい理想の姿	75
問9 30年後でも、東播磨に残っていてほしいものは何ですか	75
【3】新しいビジョン策定に向けた検討経過	76
【4】東播磨新地域ビジョン検討委員会 委員名簿	78

東播磨地域ビジョン取組内容の検証と評価

検証Ⅰ 心地いいまち（暮らしづくり）	
① 安心 安全が 実感で きる	取組Ⅰ：地域ぐるみの活動により、きずなを強め、安全安心を実感できる取組を広げる
	防災、防犯、交通安全面での危険個所の見回り活動、緊急時やトラブルの対処方法に関する学習会、犯罪の起こりにくい街灯の整備などにより、一人ひとりが、自己防衛と人につながる意識を高め、安全安心を実感できる取組を広げる
	東播磨地域ビジョン委員会
	【bousai「地域の絆」】 東播磨地域に広く防災意識を浸透させるために、中学生向けの防災講演会を開き、図上訓練を行った
	【地域防災・減災推進グループ】 平成23年に被害を出した法華山谷川流域を中心に、避難行動の訓練や防災施設の見学、学習会を実施した
	行政
	東播磨地域安全安心ネットワーク事業・NPOを核とした防災スクール ため池貯水機能向上事業・防犯カメラ補助事業
	検証（指標）
	刑法犯認知件数（指標1） 兵庫県警察本部調べ 【H22】11,248件 → 【H29】6,974件 → 【H30】5,847件 → 【R1】5,113件 交通人身事故件数（指標2） 兵庫県警察本部調べ 【H22】5,245件 → 【H29】4,076件 → 【H30】3,574件 → 【R1】2,776件 住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合（指標3） 「兵庫のゆたかさ指標」 災害に対して住んでいる地域は安全だと思う人の割合(H24まで) 【H22】59.8%(5位) → 【H29】27.9%(8位) → 【H30】32.7%(7位) → 【R1】30.7%(9位) → 【R2】29.2%(10位) 住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合（指標4） 「兵庫のゆたかさ指標」 夜9時以降に住んでいる地域を安心して歩けると思う人の割合(H24まで) 【H22】48.5%(10位) → 【H29】77.7%(7位) → 【H30】76.0%(8位) → 【R1】70.2%(10位) → 【R2】78.6%(10位)
	評価
ビジョン委員会では防災を中心に活動がおこなわれ、行政はソフト・ハード面から防災防犯に取り組んだ。 刑法犯や交通事故の件数は年々減少している。また、治安についての住民の意識はH22から大きく改善しているが県内で最も低い数値になっている。引き続き安全安心が実感できるための取組が必要。	



② 顔の見える関係を築き、お互いが寄り添い、ささえあえる	取組2：人と人とのつながりできさえあい、専門機関との連携により、自立を促す	
	地域において、保健・福祉・医療・教育・虐待防止などの分野に関する専門的知識、技術及び経験を持つ個人、団体、相談機関等の能力、福祉活動（サービス）をネットワーク化して、マネジメントするなど、地域で助け合い、ささえあいながら、自立できる生活の実現をめざす	
	東播磨地域ビジョン委員会	
	【TEAM☆AGE ² 】 地域活動の熱意を持った人が活躍できるように、企画・活動を支援した 【地域の結びつき応援隊】 地域の繋がりが疎遠になっている中、地域の人たちが集まる場を作るための場づくりを行った	
	行政	
	虐待予防支援体制の推進、出会い・結婚支援事業の推進、子育て応援ネットの推進 母子・父子・寡婦福祉の推進、精神障害者の地域移行、地域生活支援の強化事業	
	検証 (指標)	
	保育所の待機児童数 (指標5) 兵庫県健康福祉部子ども政策課調べ 【H22】 68人 → 【H29】 647人 → 【H30】 590人 → 【R1】 479人 → 【R2】 429人(9位) 離婚件数 (指標6) 市区町別主要統計指標 (兵庫県統計課) 【H22】 1,476件 → 【H28】 1,287件 → 【H29】 1,198件 → 【H30】 1,205件 → 【R1】 1,304件(8位) 住んでいる地域は、高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合 (指標7) 「兵庫のゆたかさ指標」 住んでいる地域は高齢者や障害者にも暮らしやすいと思う人の割合 (H24まで) 【H22】 33.0%(7位) → 【H29】 51.5%(3位) → 【H30】 54.3%(3位) → 【R1】 47.6%(4位) → 【R2】 55.5%(3位) 住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合 (指標8) 「兵庫のゆたかさ指標」 子育てについて地域で支え合う雰囲気があると思う人の割合 (H24まで) 【H22】 32.8%(5位) → 【H29】 56.7%(3位) → 【H30】 62.8%(1位) → 【R1】 62.6%(1位) → 【R2】 65.1%(2位)	
	評価	
	ビジョン委員会では福祉や地域の繋がりを意識した取組がおこなわれ、行政も様々な立場の人を支える取組を行った。保育所の待機児童数はH29年をピークにここ2年は減少、離婚件数も減少傾向である。また、子育てや高齢者の生活がしやすいと考える人が多くなっている傾向にあり、特に子育てしやすいと考える人の割合は県内1位である。待機児童の解消や、今増加が見込まれる高齢者が暮らしやすいと思える取組が必要。	

③ 自立して、明るく、健康に生活できる	取組3：主体的な健康づくりの推進と安心できる地域医療体制を確保する	
	生活習慣予防、精神保健福祉対策のために、住民自らが主体的な健康づくり活動に取り組み、限られた医療資源を有効に安心して利用できるよう、病状の重症度や緊急性に応じた適正な受診をするとともに、安心して医療・介護サービスが受けられる体制を確保する	
	東播磨地域ビジョン委員会	
	【Loves介護塾】 介護リーダーとなる人材の育成のための学習会や、介護疲れに悩む人たちの交流の場を設けた	
	行政 地域包括ケアシステムの推進支援・東はりま発ヘルシーメニューの普及促進 若者の心と体の健康づくり・感染症対策の推進・健康兵庫21大作戦の推進	
	検証 (指標)	
	<p>人口10万人あたりの病床数 (指標9) 医療施設調査 (厚生労働省統計情報部) 【H22】1051.1 → 【H28】1068.0 → 【H29】1069.8 → 【H30】1072.9 → 【R1】1053.9(9位)</p> <p>がん検診受診率 (胃がん) (指標10) 兵庫県健康福祉部疾病対策課調べ 【H22】7.9% → 【H28】6.7% → 【H29】5.9% → 【H30】5.1%</p> <p>心身ともに健康であると感じる人の割合 (指標11) 「兵庫のゆたかさ指標」 健康づくりに取り組んでいる人の割合 (H24まで) 【H22】62.2%(3位) → 【H29】63.8%(6位) → 【H30】68.4%(2位) → 【R1】63.1%(7位) → 【R2】63.6%(8位)</p> <p>かかりつけの医者がある人の割合 (指標12) 「兵庫のゆたかさ指標」 【H22】62.8%(7位) → 【H29】70.7%(9位) → 【H30】68.9%(7位) → 【R1】72.1%(5位) → 【R2】69.1%(9位)</p>	
評価		
<p>ビジョン委員会は介護士のリーダーの育成を目指す取組がおこなわれ、行政は医療体制の整備や生活習慣の改善を図った。病床数やかかりつけ医の数など、医療体制の充実が見られるが、胃がん検診受診率や健康意識は低下傾向にある。自立した健康づくりの実践とそれに向けた意識啓発が必要</p>		

<p>④ 暮ら せ る か な 気 候 と 便 利 さ を 生 か し て 、 ゆ と り を も っ て</p>	<p>取組4：住民主体のまちなみづくりと便利で快適な住みよい暮らしを提案する</p> <p>まちに潤いとさわやかさをもたらす花と緑の植栽活動や、暮らしに便利な移動手段を確保し、使えるシステムを構築するなど、望ましいまちなみや便利で快適な住みよい暮らしについて、地域住民自らが考え、行動するとともに、具体的な提案をする</p> <p>東播磨地域ビジョン委員会 該当無し 行政</p> <p>日常生活や地域を支える社会基盤の充実「東播磨道の整備推進」・まちなみ緑化事業 自動運転の実証実験・明石公園の良好な環境保全</p> <p>検証 (指標)</p> <p>コミュニティバス停留所数 (指標13) 東播磨県民局加古川土木事務所調べ 【H22】357箇所 → 【H29】416箇所 → 【H30】578箇所 → 【R1】514箇所 → 【R2】514箇所</p> <p>住んでいる地域は、買い物や通院に便利だと思う人の割合 (指標14) 「兵庫のゆたかさ指標」 【H22】71.3%(2位) → 【H29】68.3%(2位) → 【H30】70.2%(2位) → 【R1】60.9%(4位) → 【R2】65.5%(4位)</p> <p>住んでいる地域にこれからも住みたい人の割合 (指標15) 「兵庫のゆたかさ指標」 住んでいる地域に住み続けたい人の割合 (H24まで) 【H22】65.1%(7位) → 【H29】73.3%(9位) → 【H30】74.1%(6位) → 【R1】70.2%(6位) → 【R2】77.7%(3位)</p> <p>評価</p> <p>行政は公共交通や交通網の充実を図った。住民意識は、利便性を感じる人の割合は減少傾向にあるが、住み続けたいと思う人の割合が増加傾向にある。高齢者等の利用者ニーズに合った交通手段による利便性の確保が課題。</p>	<table border="1"> <caption>指標13～15の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標13 (箇所)</th> <th>指標14 (%)</th> <th>指標15 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>357</td> <td>71.3</td> <td>65.1</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>357</td> <td>68.3</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>357</td> <td>68.3</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>388</td> <td>68.3</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>388</td> <td>68.3</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>400</td> <td>68.3</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>416</td> <td>68.3</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>416</td> <td>68.3</td> <td>68.3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>578</td> <td>70.2</td> <td>70.2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>514</td> <td>60.9</td> <td>70.2</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>514</td> <td>65.5</td> <td>77.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	指標13 (箇所)	指標14 (%)	指標15 (%)	H22	357	71.3	65.1	H23	357	68.3	68.3	H24	357	68.3	68.3	H25	388	68.3	68.3	H26	388	68.3	68.3	H27	400	68.3	68.3	H28	416	68.3	68.3	H29	416	68.3	68.3	H30	578	70.2	70.2	R1	514	60.9	70.2	R2	514	65.5	77.7
年度	指標13 (箇所)	指標14 (%)	指標15 (%)																																															
H22	357	71.3	65.1																																															
H23	357	68.3	68.3																																															
H24	357	68.3	68.3																																															
H25	388	68.3	68.3																																															
H26	388	68.3	68.3																																															
H27	400	68.3	68.3																																															
H28	416	68.3	68.3																																															
H29	416	68.3	68.3																																															
H30	578	70.2	70.2																																															
R1	514	60.9	70.2																																															
R2	514	65.5	77.7																																															

検証2 楽しいまち（人づくり）

取組5：若者の個性と夢を育むとともに、大人も学べる機会を充実させる

人の個性を大切にしながら、子ども・若者が夢をみる力を育み、実現に向けた活動を応援するとともに、モラルや市民としての社会的責任を果たすことが問われている中、道徳観、倫理観及び教養について、大人も学ぶ機会を充実させる

東播磨地域ビジョン委員会

【ハートランド弁論大会実行委員会】

30年後の社会を担う子供たちの地域社会に対する意識を醸成するため、管内の中学校の生徒を対象とした弁論大会を開催した【仁譲塾】
 論語を通じて若者の人格形成を図り、「論語素読会」や「子ども論語素読教室」を開催した

行政

未来をひらく少年会議、東播磨「人・まち」わくわく学び塾

「ひょうご子ども・若者応援団」事業の推進、大人が変われば子どもも変わるキャンペーンの展開

検証 (指標)

児童1,000人あたりのいじめ発生件数（小学校）（指標1） 兵庫県教育委員会事務局播磨東教育事務所調べ
 【H22】1.20件 → 【H28】7.30件 → 【H29】21.85件 → 【H30】44.91件 → 【R1】48.70件

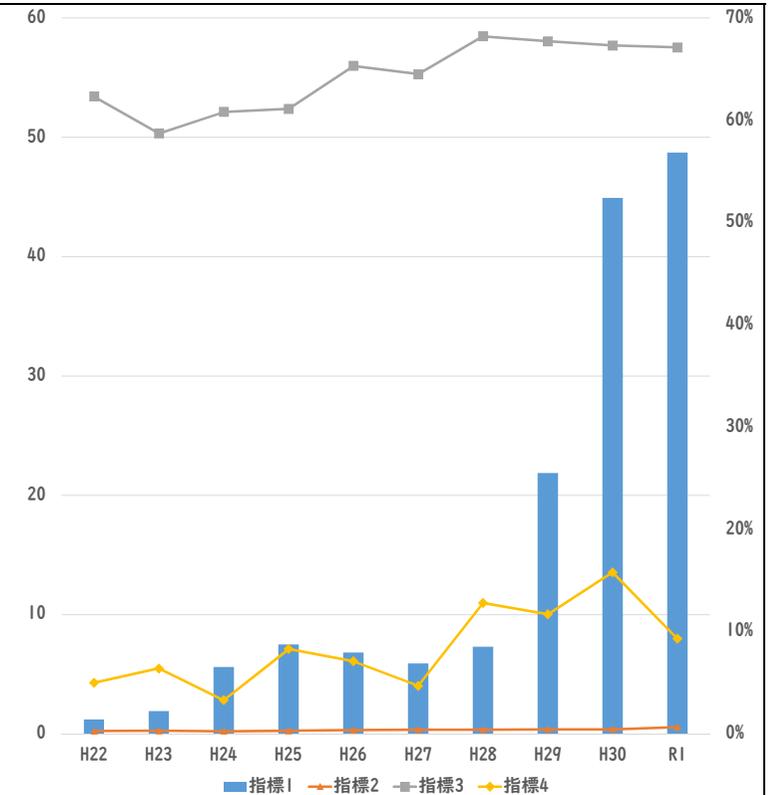
不登校児童生徒の割合（小学校）（指標2） 兵庫県教育委員会事務局播磨東教育事務所調べ
 【H22】0.27% → 【H28】0.41% → 【H29】0.41% → 【H30】0.43% → 【R1】0.66%

住んでいる地域の子どもは、伸び伸びと育てていると思う人の割合（指標3） 兵庫のゆたかさ指標
 【H22】62.3%(5位) → 【H29】67.7%(6位) → 【H30】67.3%(5位) → 【R1】67.1%(6位) → 【R2】62.6%(9位)

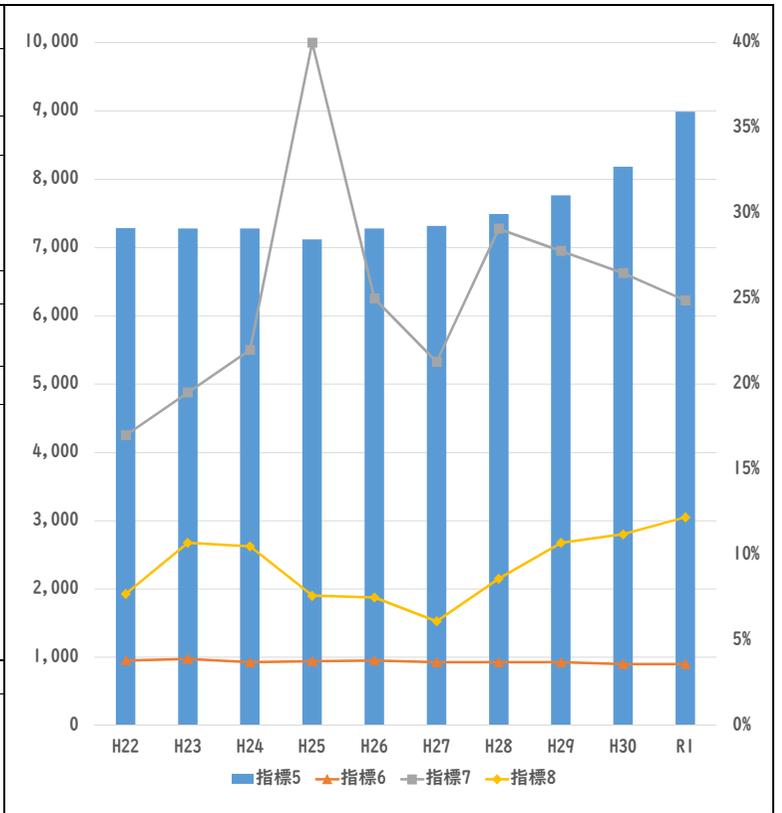
若者が希望を持てる社会だと思う人の割合（指標4） 兵庫のゆたかさ指標
 【H22】5.0%(5位) → 【H29】11.7%(6位) → 【H30】15.8%(4位) → 【R1】9.3%(7位) → 【R2】18.6%(1位)

評価

地域ビジョン委員会は委員の得意分野を活かした方法で若者の育成に取り組んだ。また、行政も地域住民と協力した若者育成事業を行った。いじめの発生件数・不登校児童の割合がともに増加している。一方、住民の子どもに対する意識はわずかによくなっており、若者が希望を持てる社会だと思う人の割合も増加傾向にある。若者の個性と夢を育む取組が必要。

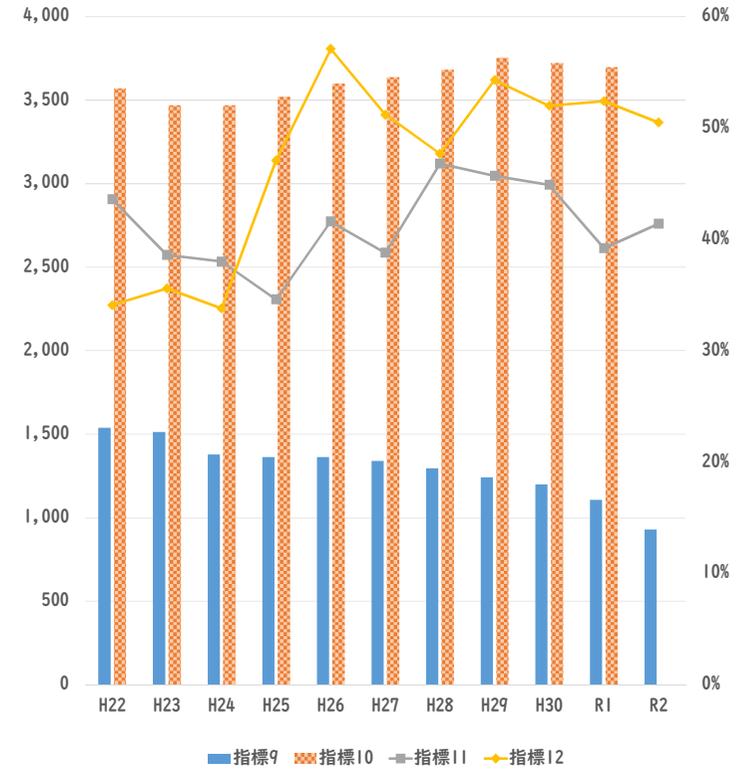


② 人の 多様 な考 え方 、生 き方 を理 解し 、応 援す る環 境を つく る	取組6：いろいろな考え方、生き方を理解し、応援する環境をつくる
	人が望む多様な生活ができる限りかなえられる地域社会となるよう、いろいろな考え方、生き方を理解する機会を設けるとともに、これらを応援する施設、システム等を整備する
	東播磨地域ビジョン委員会
	【夢のたね】 子どもが自身の将来について考えるきっかけづくりとして、管内の小学校で職業体験学習を実施した
	【Dawg with】 命の大切さや思いやる気持ちを学ぶために、小学校や福祉施設でふれあい授業を開催した
	行政
	男女共同参画推進員を通じた啓発・兵庫ゆずりあい駐車場の普及推進 チャレンジショップ「きずな」の販売力強化による障害者の自立支援
	検証 (指標)
	在留外国人数 (指標5) 県内在留外国人数一覧(兵庫県国際交流課) 【H22】7,284人 → 【H28】7,492人 → 【H29】7,764人 → 【H30】8,183人 → 【R1】8,989人(5位)
	障害者手帳所持率 (指標6) 東播磨県民局加古川健康福祉事務所調べ 【H22】3.8% → 【H28】3.7% → 【H29】3.7% → 【H30】3.6%
不当な差別がない社会だと思ふ人の割合 (指標7) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】17.0%(10位) → 【H29】27.8%(7位) → 【H30】26.5%(9位) → 【R1】24.9%(10位) → 【R2】31.8%(2位)	
性別や年齢を問わず、働きやすい環境が整っていると思ふ人の割合 (指標8) 兵庫のゆたかさ指標 性別や年齢を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思ふ人の割合 (H24まで) 【H22】7.7%(4位) → 【H29】10.7%(4位) → 【H30】11.2%(3位) → 【R1】12.2%(2位) → 【R2】10.6%(4位)	
評価	
地域ビジョン委員会では小学校の授業に参加し、子ども達に自身の将来やお互いを思いやる心を学ぶ機会を設けた。また、行政は多様性が尊重されるための取組を行った。在留外国人は平成25年以降増加し続けている。また、住民意識はよくなっている傾向にあるが、いずれも低い割合であるため、多様な生き方、働き方を尊重し支援する社会づくりへの取組がさらに必要。	

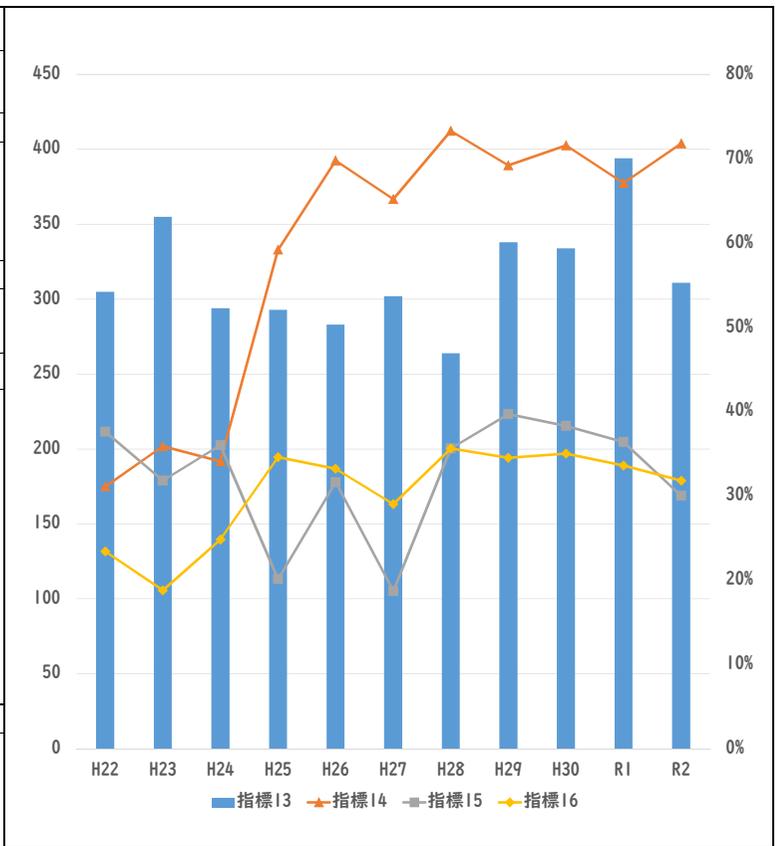


③ 自らの生きる意義を考え、生きがいを持つ

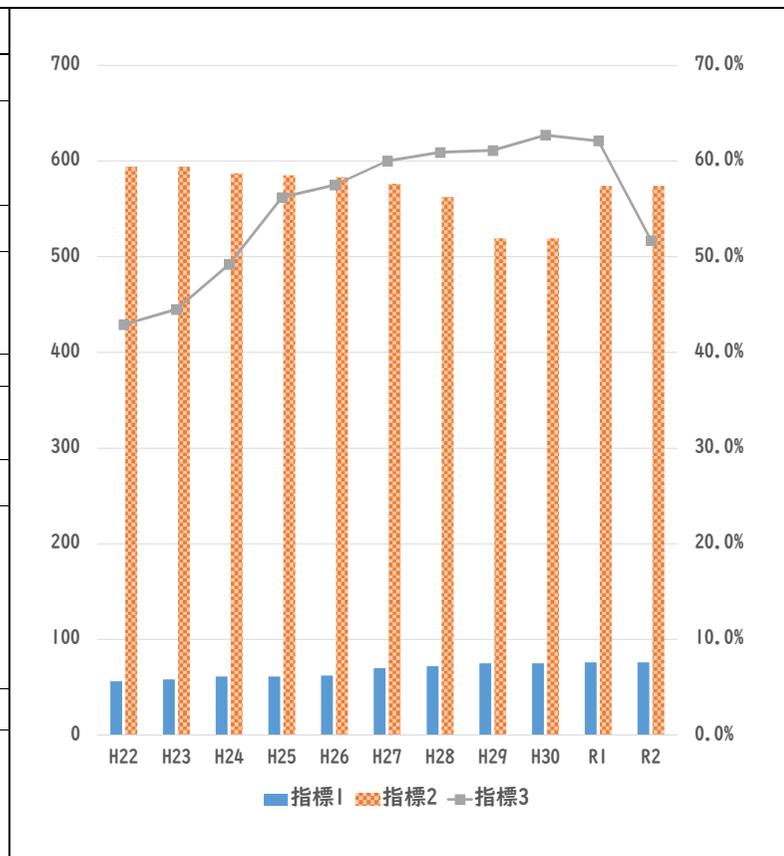
取組7：生涯充実をめざし、培ってきた知識、技術及び経験を地域のために還元する
人が生きがいを感じて、充実した生活を過ごせるよう、自らが培ってきた知識、技術及び経験を地域社会へ還元できる環境づくりを進める
東播磨地域ビジョン委員会
【チャレンジ・ナビ】 地域の高齢者が昔遊びなどの文化を子供たちに継承するためのイベントを開催し、文化の継承と地域リーグの育成を図った 【東播磨に駒音を響かそう】 青少年の健全育成・シニア世代の生きがい創出、世代間の交流を図り、将棋を用いた交流会や将棋大会を開催した
行政
シニア世代地域デビュー交流フェスタ事業・地域づくり伝統文化交流事業
検証 (指標)
<p>県立高齢者大学の受講者数 (指標9) 兵庫県企画県民部県民生活課調べ 【H22】1,539人 → 【H29】1,242人 → 【H30】1,199人 → 【R1】1,108人 → 【R2】929人</p> <p>シルバー人材センター会員数 (指標10) (公社)兵庫県シルバー人材センター協会調べ 【H22】3,571人 → 【H28】3,682人 → 【H29】3,753人 → 【H30】3,723人 → 【R1】3,698人(4位)</p> <p>目的をもって学んでいることがある人の割合 (指標11) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】43.6%(1位) → 【H29】45.7%(4位) → 【H30】44.9%(5位) → 【R1】39.2%(9位) → 【R2】41.4%(6位)</p> <p>住んでいる地域で、異なる世代の人と付き合いがある人の割合 (指標12) 兵庫のゆたかさ指標 地域の異なる世代の人とつきあいがある人の割合 (H24まで) 【H22】34.1%(8位) → 【H29】54.3%(7位) → 【H30】52.0%(7位) → 【R1】52.4%(7位) → 【R2】50.5%(7位)</p>
評価
地域ビジョン委員会では、高齢者が地域の若者と交流し、知識や経験の継承を図った。行政は高齢者が地域活動に積極的に参加できるよう支援を行った。高齢者大学の受講者数は年々減少しているが、シルバー人材センターの会員数は増加傾向にある。また、世代間交流は増加しているが、学びについての意識は低下傾向であることから、意欲を持って生涯学習に取り組むための働きかけが課題。



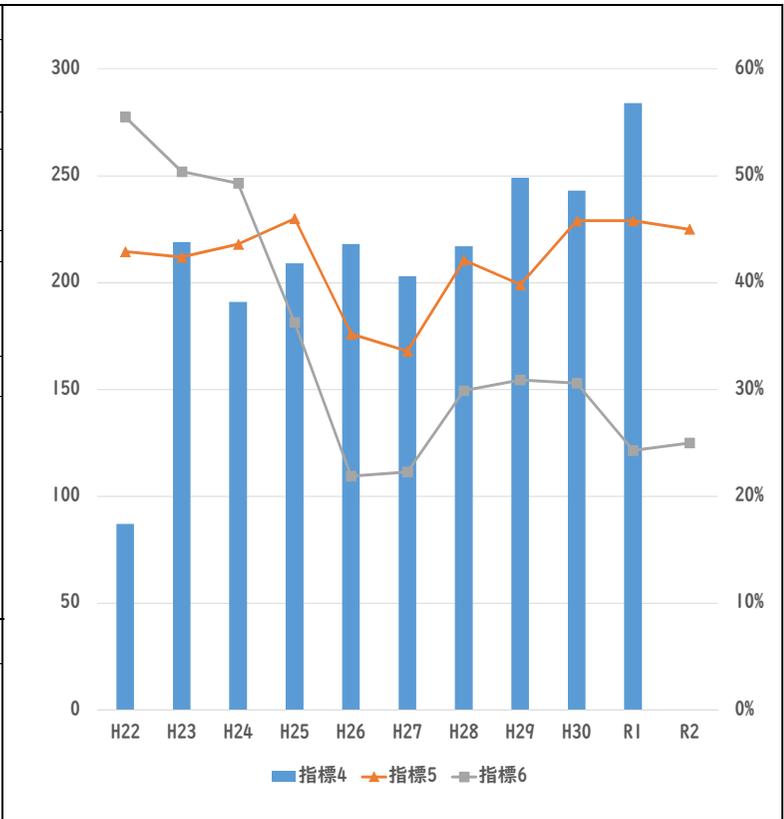
④ 多 彩 な 知 恵 と ア イ デ ア が 交 わ り、 お 互 い を 高 め、 楽 し さ を 創 造 で き る	取組 8：交流チャンネルと意欲ある人材の開拓により、新しい地域づくり活動を呼び起こす
	参画と協働の拠点施設が持つコミュニティ団体とのネットワークの活用や、中間支援組織の育成を促し、地域づくり活動の新たな展開をはかるよう活用する
	東播磨地域ビジョン委員会
	【東はりまコミュニティがく団】 地域活動に興味がある人のきっかけ作り・学びの場として「NPOカフェ」を開催した 【ハートランドぐり石ネット】 地域活動の楽しさを広く知ってもらうために、ふるさと探訪やパソコン楽習塾など様々な活動を展開した
	行政
	東播磨生活創造センター「かこむ」の運営・地域づくり活動支援事業 高砂みなとまちづくり・こころ豊かな人づくり500人委員育成事業
	検証 (指標)
	東播磨生活創造センターのかこむ倶楽部登録数(指標13) シミズシーズ・BANBANネットワークス協同事業体(指定管理者) 【H23.3末】305グループ → 【H31.3末】334グループ → 【R2.3末】394グループ → 【R2.10末】311グループ 住んでいる地域のことに関心がある人の割合(指標14) 兵庫のゆたかさ指標 (H24まで) 地域の風土や文化について知っている人の割合 【H22】31.1%(9位) → 【H29】69.2%(8位) → 【H30】71.6%(7位) → 【R1】67.1%(8位) → 【R2】71.8%(5位) 住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合(指標15) 兵庫のゆたかさ指標 (H24まで) 地域の行事によく参加する人の割合 【H22】37.6%(7位) → 【H29】39.7%(5位) → 【H30】38.3%(6位) → 【R1】36.4%(7位) → 【R2】30.0%(9位) ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい人の割合(指標16) 兵庫のゆたかさ指標 地域活動やボランティア活動をしている人の割合(H24まで) 【H22】23.4%(8位) → 【H29】34.5%(7位) → 【H30】35.0%(8位) → 【R1】33.6%(7位) → 【R2】31.8%(9位)
	評価
	地域ビジョン委員会では、地域づくり活動の立ち上げの支援や、参加のきっかけとなる取組を行った。行政では地域づくり活動の拠点の整備や資金面での支援を行った。地域に関心のある人の割合が増加し、かこむの登録団体数も増加している。また、ボランティアなどへの参加意欲も増加傾向にあり、引き続き地域活動への参加を促進する場づくりなどが必要。



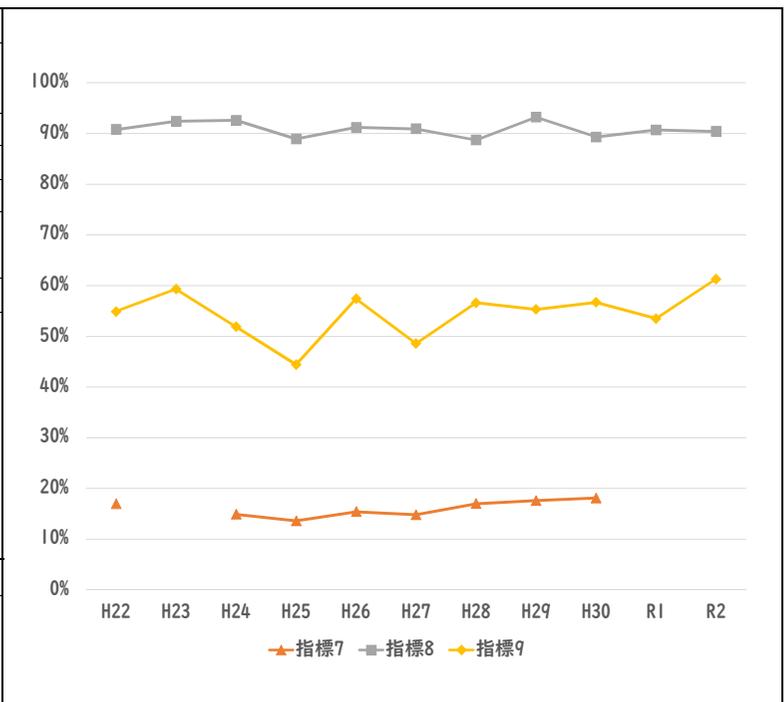
検証3 美しいまち（まちづくり）	
① 循環する水の路を愛し、流域文化の高さと美しさを体感できる	取組9：いなみ野ため池ミュージアムを核としたプロジェクトを推進する
	東播磨地域の象徴であるため池をはじめとした水辺地域全体をまるごと博物館に見立てた「いなみ野ため池ミュージアム」を核として、それぞれの水辺地域をつなぐネットワークである「循環する水の路」が培ってきた流域文化を探り、これを発信する
	東播磨地域ビジョン委員会
	【東播磨コミュニティプランナーズ】 「新川池」を中心に、ため池と地域住民の関係について考えるきっかけ作りとして外来種の駆除やかい掘りのイベントを開催した
	行政
	水辺の魅力アップ交流促進事業・ため池コウノトリプロジェクトの推進 オ池リンピック2020の開催・東播磨水辺名所づくり・官学連携による持続可能な水辺地域づくりの推進
	検証 (指標)
	ため池協議会の設立状況 (指標1) 東播磨県民局水辺地域づくり担当調べ 【H22】56団体 → 【H29】75団体 → 【H30】75団体 → 【R1】76団体 → 【R1】76団体
	ため池数 (指標2) 兵庫県加古川流域土地改良事務所調べ 【H22】594箇所 → 【H29】519箇所 → 【H30】519箇所 → 【R1】574箇所 → 【R2】574箇所(8位)
	ため池整備率 (指標3) 兵庫県加古川流域土地改良事務所調べ 【H22】42.9% → 【H29】61.1% → 【H30】62.7% → 【R1】62.1% → 【R2】51.7%
評価	
地域ビジョン委員会では、ため池の自然やその管理に関わる人たちについて、地域に発信する取組が行われた。行政ではため池文化の発信のほか、コウノトリなどを通じて人とため池の共生を図った。ため池の整備率は上昇し、ため池協議会の数も増加している。協議会リーダーの世代交代に伴う新たな組織体制の構築や、ため池という地域資源を活用したさらなる価値の創出に向けた取組が必要。	



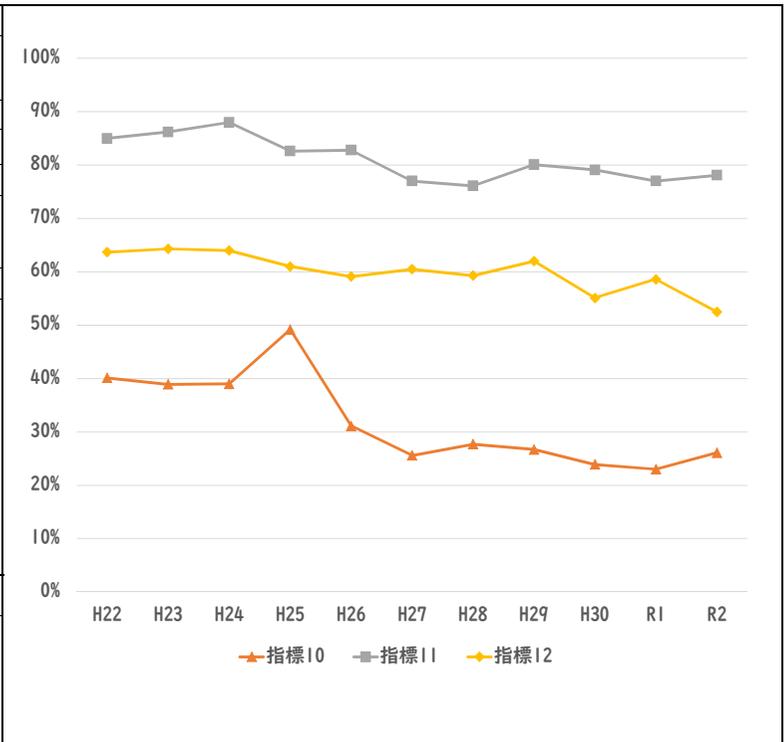
② 人と自然が共生し、生態系を保全できる	取組10：豊かな水辺地域の生態系を学び、環境保全活動に取り組む
	豊かな水辺地域の生態系を保全するため、水辺環境の再生を図る実践活動を展開するとともに、上流域の活動と連携しながら、多様な活動主体が、森・川・海の再生に向けた体験型環境学習事業に参画する
	東播磨地域ビジョン委員会
	【水辺に学ぶプロジェクト】 地域の豊かな水辺を発信するため、小学生を対象とした生き物観察会の開催や希少生物の保護活動を行った
	行政 ため池協議会水系ネットワーク化の推進・地域でキラリ☆走る環境学習教室の開催 水辺の魅力アップ交流促進事業・人と野生動物が共生のできる森づくりと地域の活性化 豊かな海の再生プロジェクト
	検証 (指標)
	池干しをしているため池の数 (指標4) 東播磨県民局水辺地域づくり担当調べ 【H22】 87箇所 → 【H28】 217箇所 → 【H29】 249箇所 → 【H30】 243箇所 → 【R1】 284箇所 住んでいる市・町の自然環境は守られていると思う人の割合 (指標5) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】 42.9%(10位) → 【H29】 39.8%(8位) → 【H30】 45.8%(9位) → 【R1】 45.8%(7位) → 【R2】 45.0%(9位) 住んでいる市・町で、自然の生き物(動物・植物)とふれあう機会があると思う人の割合 (指標6) 兵庫のゆたかさ指標 身近に自然とふれあえる場がある人の割合(H24まで) 【H22】 55.5%(9位) → 【H29】 30.9%(9位) → 【H30】 30.6%(10位) → 【R1】 24.3%(10位) → 【R2】 25.0%(10位)
評価 地域ビジョン委員会では、住民が加古川河川敷・河口の自然とふれあう体験学習を行った。行政では生態系の保護や、地域社会との共生を目的とした取組を行った。池干しが行われているため池は増加傾向にある。また、自然環境が守られていると思う人の割合は若干増加している。一方で自然とふれあう機会があると思う人の割合が減少している。身近な環境には素晴らしい自然があることを感じる取組がさらに必要。	



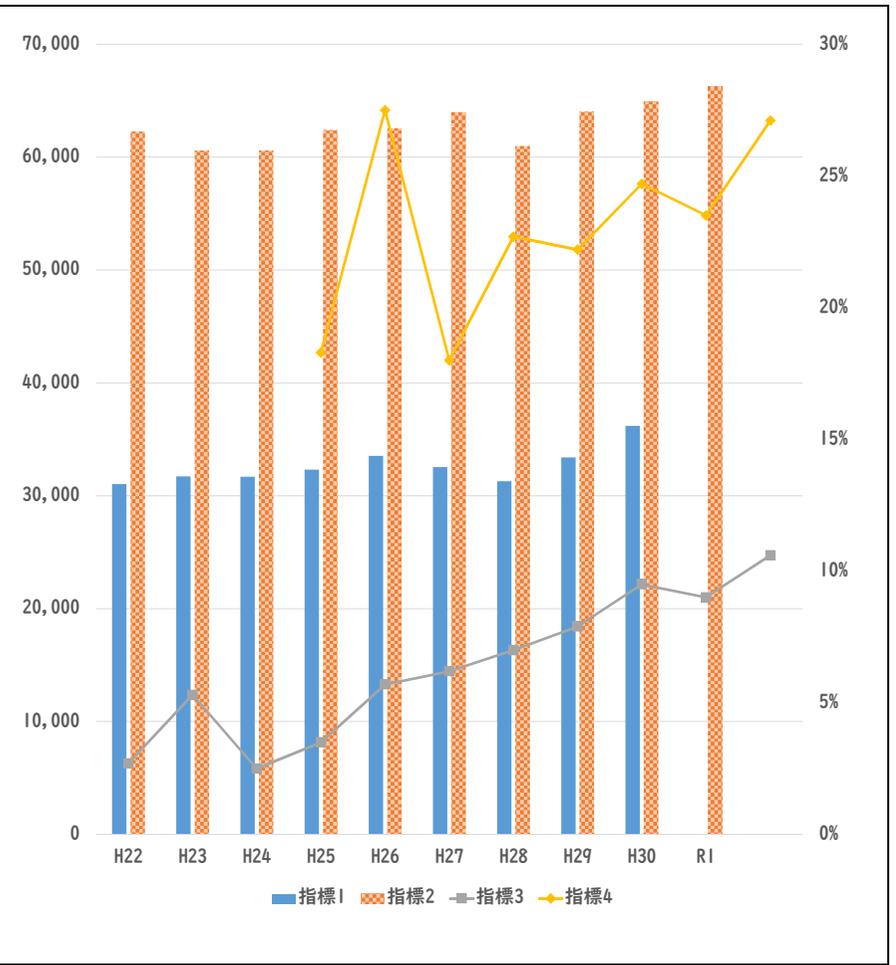
③ 持 続 可 能 な 環 境 型 地 域 の モ デ ル と な れ る	取組ⅠⅠ： 資源の循環を促し、環境への負荷を低減する活動に取り組む
	家庭や事業所におけるごみの減量をはじめとする3R活動をさらに深めるとともに、ゴミや不要となるモノの資源化を図り、環境に優しい行動が、地域の経済的な活動として、持続できる仕組みを構築し、展開する
	東播磨地域ビジョン委員会
	該当なし
	行政
	地域でe~co（えーこ）とクリーン作戦・「廃棄物エコ手形制度」の推進 不法投棄防止対策支援・人工衛星画像を活用した不法投棄監視活動
	検証 (指標)
	リサイクル率（一般廃棄物）（指標7） 兵庫県的一般廃棄物処理（兵庫県環境整備課） 【H22】17.0% → 【H28】17.0% → 【H29】18.6% → 【H30】18.1% ゴミの分別やリサイクルに取り組んでいる人の割合（指標8）兵庫のゆたかさ指標 ゴミの分別やリサイクルに協力している人の割合（H24まで） 【H22】90.8%（9位）→ 【H29】93.2%（2位）→ 【H30】89.3%（7位）→ 【R1】90.7%（5位）→ 【R2】90.4%（7位） 住んでいる地域のまち並みはきれいだと思う人の割合（指標9）兵庫のゆたかさ指標 住んでいる地域はきれいだと思う人の割合（H24まで） 【H22】54.9%（9位）→ 【H29】55.3%（5位）→ 【H30】56.7%（8位）→ 【R1】53.5%（9位）→ 【R2】61.3%（5位）
	評価
	行政はゴミの不法投棄への対策や、住民のゴミ分別を推進した。リサイクル率は緩やかに増加しているが、ゴミに対する意識などは大きな変化は見られなかった。ゴミの分別について定着がうかがえるものの、男性や若年層への意識啓発が必要。



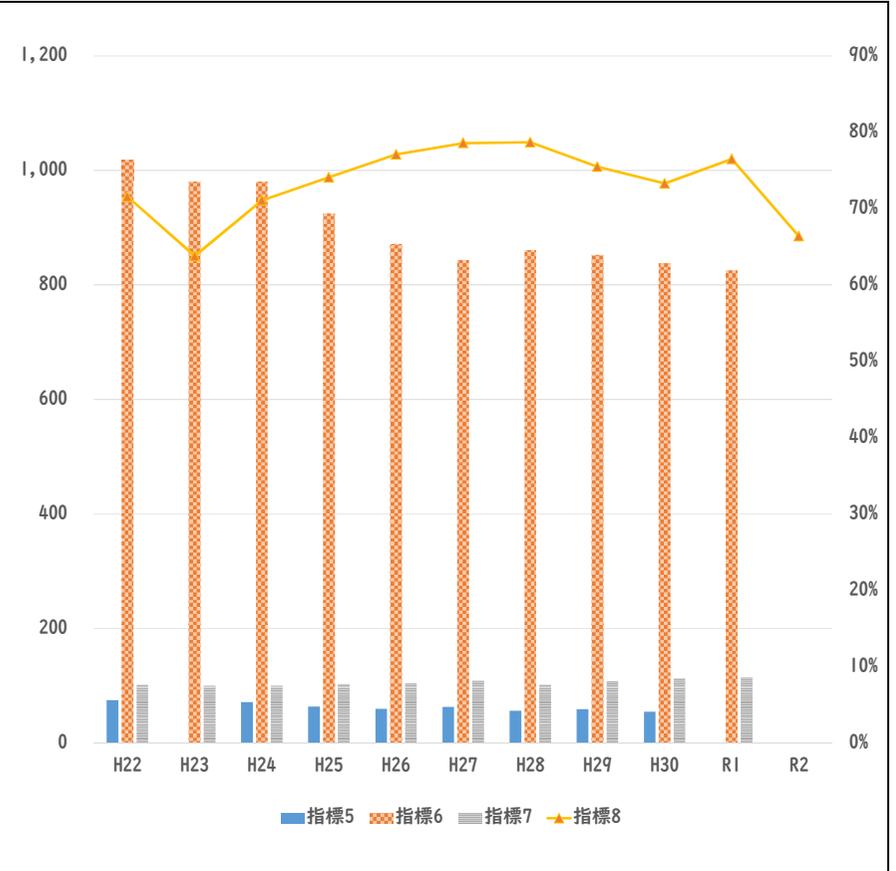
④ 地球と未来にやさしく、 低炭素型社会を構築できる	取組12： 地球にやさしい生活様式を提案して、新しい経済活動に取り組む
	太陽光発電などグリーンエネルギーの利用を促進するとともに、家庭や事業所における省エネルギー活動に取り組みながら、地球に優しい生活様式を提案することにより、新しい経済活動に取り組む
	東播磨地域ビジョン委員会
	該当なし
	行政
	東播磨地球温暖化防止活動推進事業・エコツーリズムバス活用支援 CO ₂ 見える化強化事業の実施・エコ広場サミットの開催
	検証 (指標)
	太陽光など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したいと思う人の割合 (指標10) 兵庫のゆたかさ指標 太陽光などの自然エネルギーを利用するために、費用を負担してもよいと思う人の割合(H24まで) 【H22】40.1%(2位) → 【H29】26.7%(1位) → 【H30】23.9%(5位) → 【R1】23.0%(3位) → 【R2】26.1%(3位)
	日頃から節電に取り組んでいる人の割合 (指標11) 兵庫のゆたかさ指標 電気のムダ使いに気をかけるなど、環境に配慮している人の割合 (H24まで) 【H22】85.0%(4位) → 【H29】80.1%(2位) → 【H30】79.1%(3位) → 【R1】77.0%(5位) → 【R2】78.1%(3位)
	製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人の割合 (指標12) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】63.7%(2位) → 【H29】62.0%(1位) → 【H30】55.1%(9位) → 【R1】58.6%(3位) → 【R2】52.5%(9位)
評価	
地域ビジョン委員会で再生可能エネルギーや省エネについて特に力を入れて取り組んだグループはなかった。行政は率先した再生可能エネルギーの利用と共に、地球温暖化防止についての普及啓発を進めた。しかし環境問題への意識は低下傾向にあるため、低炭素型社会の実現に向けた意識啓発について粘り強く取り組む必要がある。	



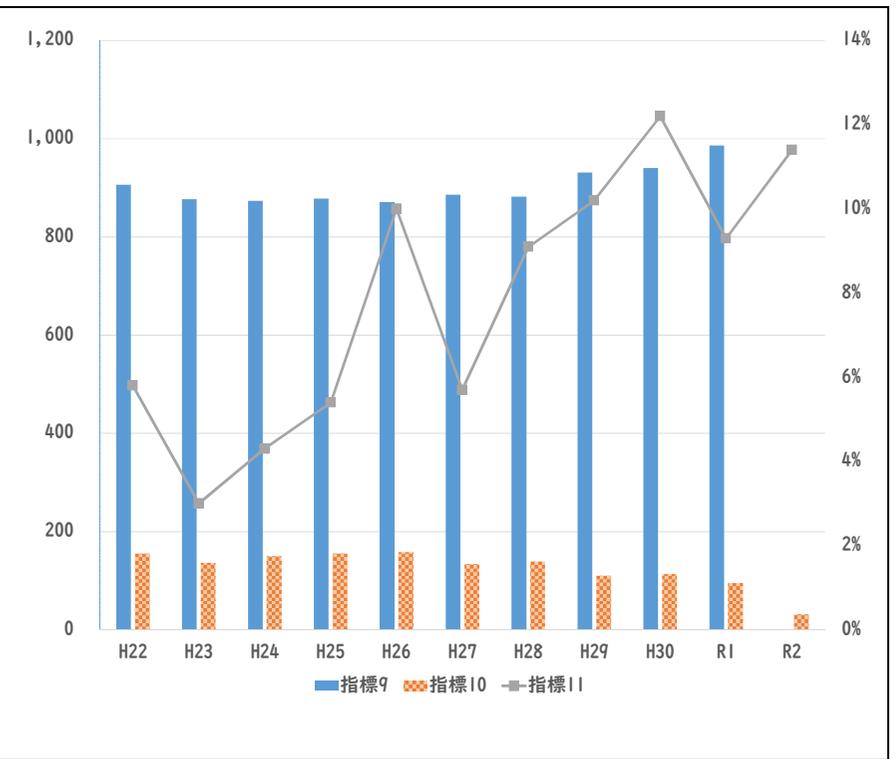
検証4 力強いまち（活力づくり）	
①生活を豊かにする質の高い「もの・サービス」を創造できる	取組13：産学公民、異業種間の交流により、ものづくりの活性化と地域密着型の起業を推進する
	ものづくり産業の魅力・底力の周知を図るとともに、企業と大学等の試験研究機関が持つ技術シーズとのマッチングを図ることにより、新製品・新技術の開発を促進するほか、きめ細かいサービスを提供できる地域密着型の企業を推進する
	東播磨地域ビジョン委員会
	【東播磨ものづくり応援団】 ものづくりが盛んな東播磨において、工場見学を実施することで住民と現場の距離を縮め、活性化を図った 【東播磨ものづくり推進部】 若者に地元就職してもらうため、地域のものづくりを知ってもらおうと、高校生の企業訪問を企画した
	行政
	デジタルファブリケーションによる新たな「ものづくり」支援・東播磨ものづくり企業の魅力発信 「産業元気東播磨」ものづくり推進事業、新製品・新技術開発支援経営改善支援、東はりまの魅力 K I Ds体験ツアー
	検証 (指標)
	製造品出荷額 (指標1) 工業統計調査、経済センサス (兵庫県統計課) 【H22.12末】31,041億円 → 【H28.12末】31,304億円 → 【H29.12末】33,423億円 → 【H30.12末】36,203億円 製造業従事者数 (指標2) 工業統計調査、経済センサス (兵庫県統計課) 【H22】62,293人 → 【H28】61,013人 → 【H29】64,043人 → 【H30】64,971人 → 【R1】66,208人 自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思う人の割合 (指標3) 兵庫のゆたかさ指標 自分にあった職業への転職がしやすいと思う人の割合 (H24まで) 【H22】2.7%(6位) → 【H29】7.9%(5位) → 【H30】9.5%(3位) → 【R1】9.0%(3位) → 【R2】10.6%(3位) 住んでいる市・町の企業には活気が感じられると思う人の割合 (指標4) 兵庫のゆたかさ指標 【H27】18.0%(4位) → 【H29】22.2%(4位) → 【H30】24.7%(3位) → 【R1】23.5%(4位) → 【R2】7.1%(4位)
	評価
	地域ビジョン委員会では、地域の若者にもものづくりの現場を知ってもらうことで地域活性化を図った。行政では外部に向けたものづくりの情報発信や、デジタル化を進めた新たなものづくりに取り組んだ。製造品出荷額や従事者数は増加傾向にある。また、就職や転職の選択肢に対するポジティブな感情が増えている。東播磨で働く人をどう増やすか、そのために働く場としても魅力ある産業をどう育てていくかが今後の課題。



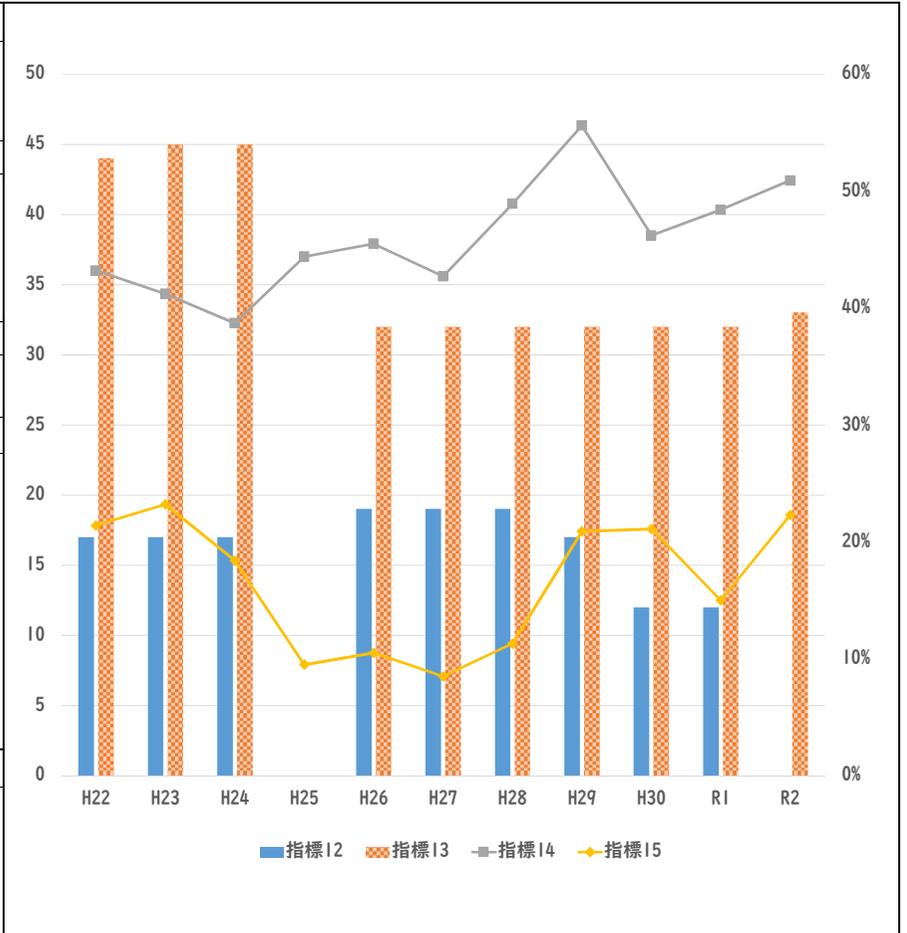
② 豊かな農林水産業と食文化を展開できる	取組14：担い手の育成・確保に加え、豊かな農林水産資源を守り、地産地消を推進する
	農林水産業の担い手の育成・確保や食農教育により、農業や農作物の魅力子どもや地域住民、消費者などに伝えるとともに、農に関心のある都市部住民による耕作放棄地の管理、水産資源の培養管理の推進、地域ブランド製品の開発や6次産業化による販売路開拓、直売所を拠点とした地産地消のほか、地場産品による郷土料理の発信に取り組む
	東播磨地域ビジョン委員会
	【Agri Dream&Creation】 東播磨の農業の普及のため収穫祭や意見交換会料理教室や大学生との交流会など様々なイベントを実施した 【東播磨食の発見】 地域の食材の良さをアピールするため料理教室を開催した。また、生産者と消費者の交流を促すことで地産地消を推し進めた
	行政
	東播磨「農」のブランド化大作戦、新たな水産物増養殖チャレンジ事業 新規就農者の育成・確保、東播磨の農業経営力アップ事業、都市農業元気アップ事業
	検証 (指標)
	農産物産出額 (指標5) 第67次兵庫農林水産統計年報 【H22】74.9億 → 【H27】63.1億 → 【H28】56.5億 → 【H29】59.0億 → 【H30】54.9億 漁業者数 (正組合員) (指標6) 漁協生組合員数 【H22】1,019人 → 【H28】861人 → 【H29】853人 → 【H30】838人 → 【R1】826人 認定農業者数 (指標7) 兵庫県農政環境部農業経営課調べ 【H22】102経営体 → 【H28】102経営体 → 【H29】108経営体 → 【H30】113経営体 → 【R1】114経営体 地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合 (指標8) 兵庫ゆたかさ指標 【H22】71.6%(3位) → 【H29】75.5%(6位) → 【H30】73.3%(5位) → 【R1】76.5%(3位) → 【R2】66.4%(7位)
	評価
	地域ビジョン委員会は料理教室などを通じて地域の生産者と消費者の交流を進めた。行政は農林水産物の質や量を高める取組を行ったほか、新規就農者の確保・育成を進めた。農産物出荷額や漁業者数は年々減少している。農林水産業の体質強化とネットワーク化による活力強化が必要。



③ 交流を促す基盤と拠点を整備し、多彩なネットワークを構築できる	取組15：地域の新しい交流拠点や自転車を活用したツーリズムルートを提案する
	東播磨地域が交通の要衝地であることを生かし、テーマ別（B級グルメ、映画ロケ地、国宝巡り等）の広域ツーリズムルートを設定するとともに、比較的平坦な地形であるメリットを生かして、広域的な自転車ツーリズムを推進する
	東播磨地域ビジョン委員会
	【歌声列車の会】 JR加古川線の利用促進と沿線の活性化のために、車両を貸し切って「歌声列車」を走らせた
	【輪友ネット】 サイクリングマップの普及・啓発のため、加古川土木事務所と協力してサイクリングマップを作成した
	行政
	加古川魅力あるまちづくり推進事業の支援、東播磨ツーリズムモデルルートマップの作成 自転車ネットワーク計画、外国人観光客の東播磨への誘客促進
	検証（指標）
観光客入込数（指標9） 兵庫県観光客動態調査（兵庫県観光交流課） 【H22年度】906万人 → 【H29年度】931万人 → 【H30年度】940万人 → 【R1】985万人	
県立考古博物館入館者数（指標10） 県立考古博物館調べ 【H22】155千人 → 【H29】110千人 → 【H30】113千人 → 【R1】116千人 → 【R2.11末】31千人	
住んでいる市・町では、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合（指標11） 兵庫のゆたかさ指標 【H22】5.8%(10位) → 【H29】10.2%(10位) → 【H30】12.2%(9位) → 【R1】9.3%(10位) → 【R2】1.4%(9位)	
評価	
地域ビジョン委員会では公共交通を利用した取組や、行政と協力して自転車の利用を進める取組が行われた。行政では自転車を様々な形で浸透させる取組が行われた。観光客数は若干の増加が見られるが、考古博物館の来客は減少している。地域での観光資源の磨き上げや、移動環境の充実に取り組む必要がある。	



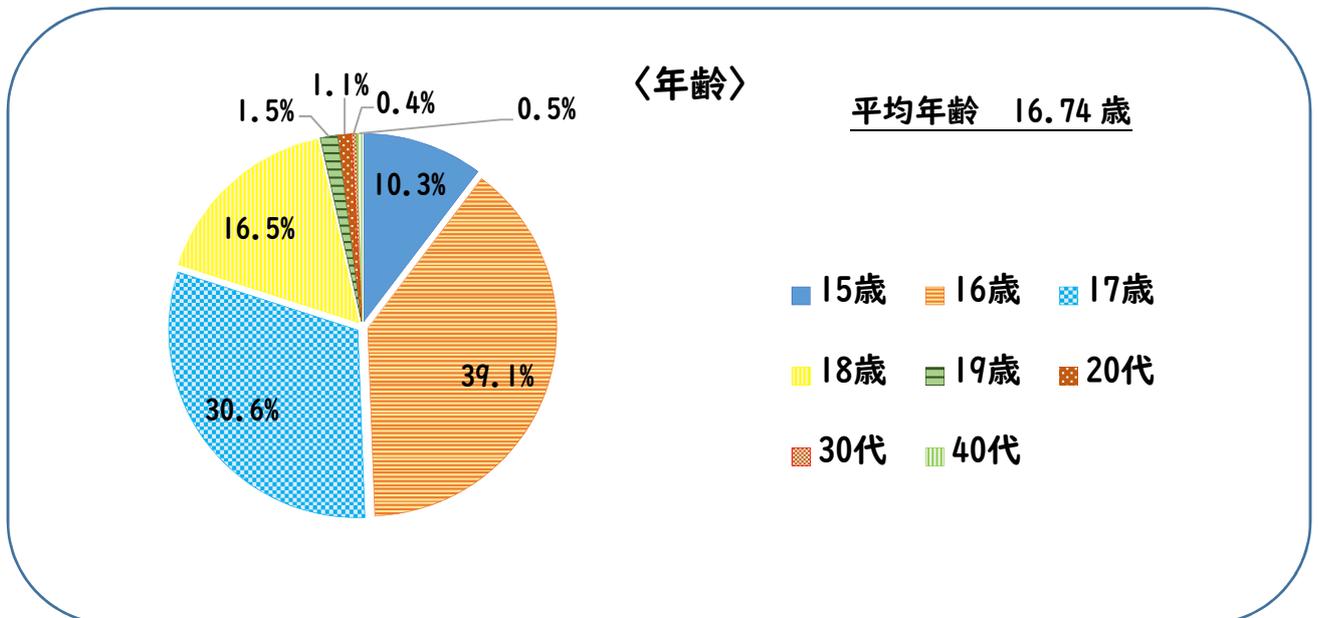
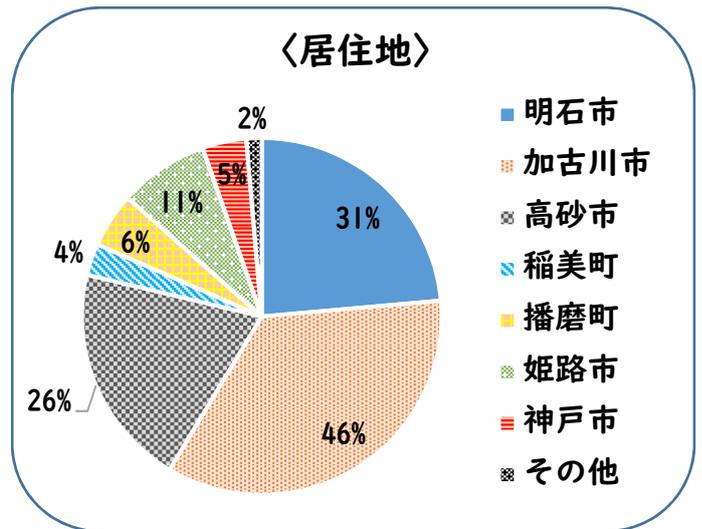
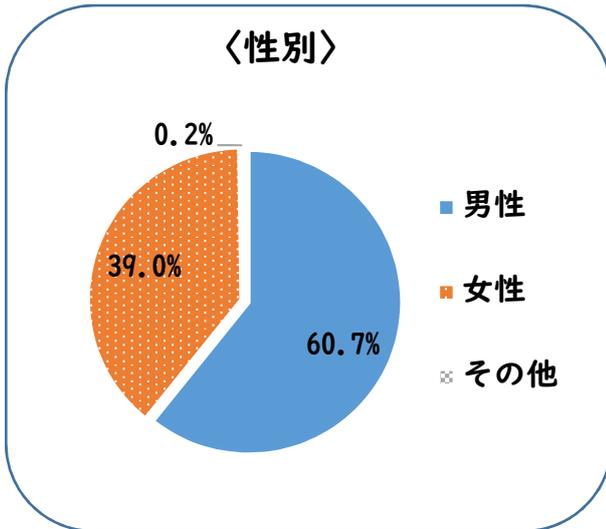
④ 人・もの・情報が交流し、魅力とにぎわいを生み出せる	取組 16：東播磨の新しい魅力の再発見とにぎわいづくりに取り組む
	東播磨ゆかりの歴史、風習、人物、産業、グルメ等の観点から、埋もれている東播磨の地域資源を掘り起こし、既存又は新しい地域資源とつなぐことにより、新しい魅力を発信するとともに、商店街における空き店舗利用者への支援、中心市街地内を回遊できる仕掛けづくりなどのにぎわいづくりに取り組む
	東播磨地域ビジョン委員会
	【ふるさと見せ隊・知らせ隊】 地域の名所を巡るツアーを企画することで地元愛を醸成し、賑わい溢れる東播磨をめざした 【らくがく倶楽部】 豊かな文化を育てるために、地域の文化施設と人のネットワークの強化を図り、文化施設のコラボイベントや施設の相互訪問を実施した
	行政
	商店街の活性化、東播磨魅力再発見による交流の促進 中心市街地活性化への支援、B-1グランプリ全国大会出場支援事業
	検証 (指標)
	産業ツーリズム施設件数 (指標12) ひょうごツーリズム協会調べ 【H22】17箇所 → 【H28】19箇所 → 【H29】17箇所 → 【H30】12箇所 → 【R1】12箇所 国指定文化財の数 (指標13) 兵庫県教育委員会事務局文化財課調べ 【H22】44箇所 → 【H29】32箇所 → 【H30】32箇所 → 【R1】33箇所 住んでいる市・町には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合 (指標14) 兵庫のゆたかさ指標 自慢したい地域の風景や名所がある人の割合 (H24まで) 【H22】43.2%(9位) → 【H29】55.6%(4位) → 【H30】46.2%(3位) → 【R1】48.4%(6位) → 【R2】50.9%(8位) 住んでいる市・町の駅前や商店街に、活気を感じられると思う人の割合 (指標15) 兵庫のゆたかさ指標 【H22】21.4%(4位) → 【H29】20.9%(5位) → 【H30】21.1%(5位) → 【R1】15.0%(5位) → 【R2】22.3%(5位)
評価	
地域ビジョン委員会は、地域の施設の活性化や、住民への情報発信などを行った。行政は地域資源の発掘や人の交流を進めた。指定文化財などの施設数は減少したが、地域資源の存在を認識する人の割合は増加している。また、地域に活気を感じる人の割合は減少している。地域の活力に繋がる商店街の再生と、地域資源の掘り起こしによる新しい地域の魅力づくりが必要。	



(東播磨地域に暮らす・通勤する・通学する)

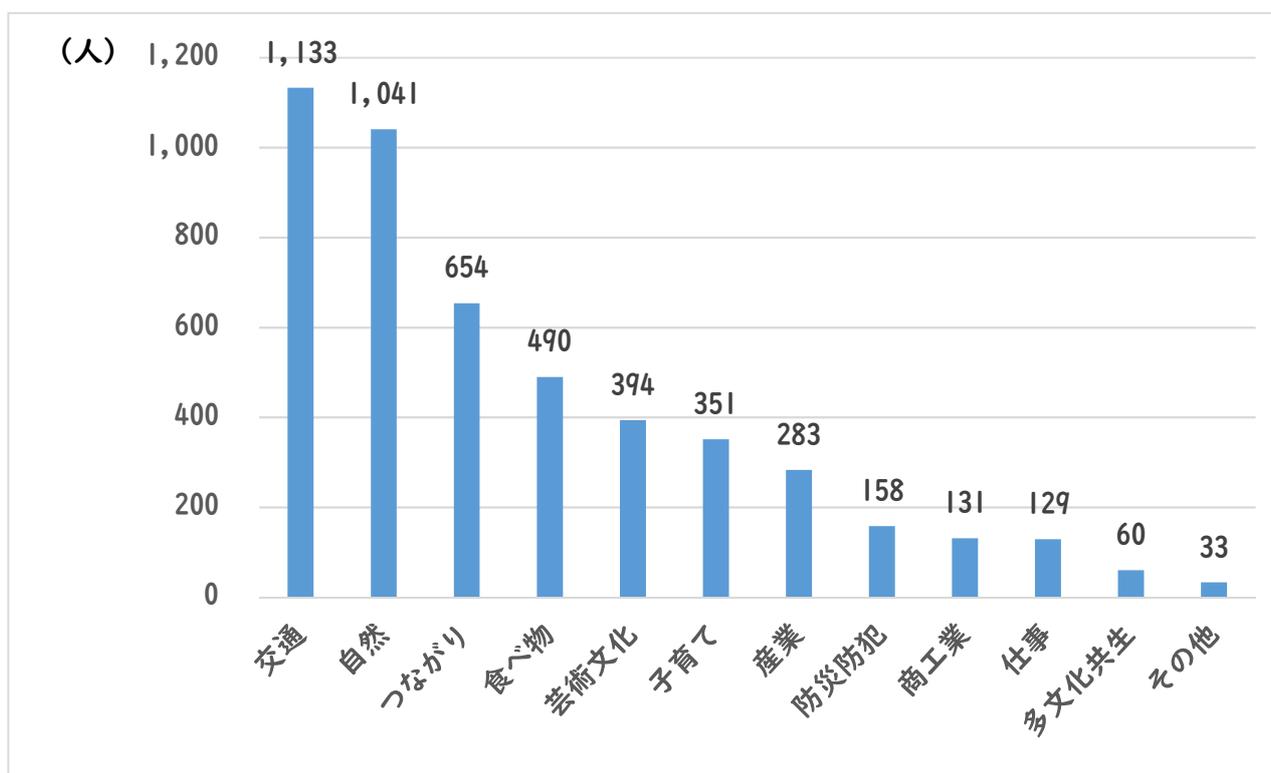
若者アンケート 調査結果 (概要)

アンケート回答者の属性



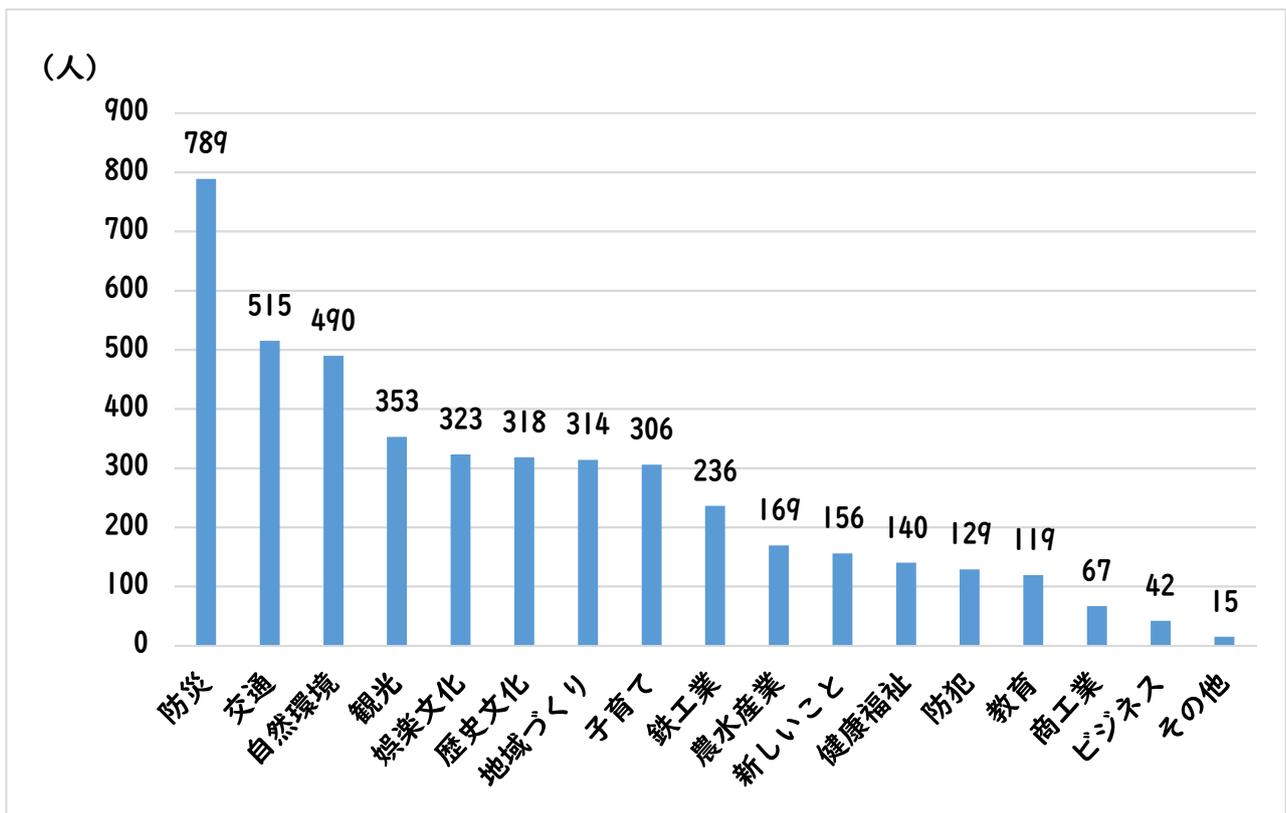
問1 東播磨地域に住んでいて（または通勤・通学して）良かったと思うことは、どのようなことですか。（3つまで回答）

交通が便利であること	1,133人
自然が豊かであること	1,041人
地域での人と人とのつながりがあること	654人
地元産のおいしい食べ物が多いこと	490人
芸術文化や祭りが充実していること	394人
子育て環境や教育環境が優れていること	351人
鉄鋼や重工業、農業など力強い産業があること	283人
防災対策や防犯対策がしっかりとしていること	158人
商工業が充実していること	131人
仕事をしやすい環境であること	129人
多文化共生が進んでいること	60人
その他	33人



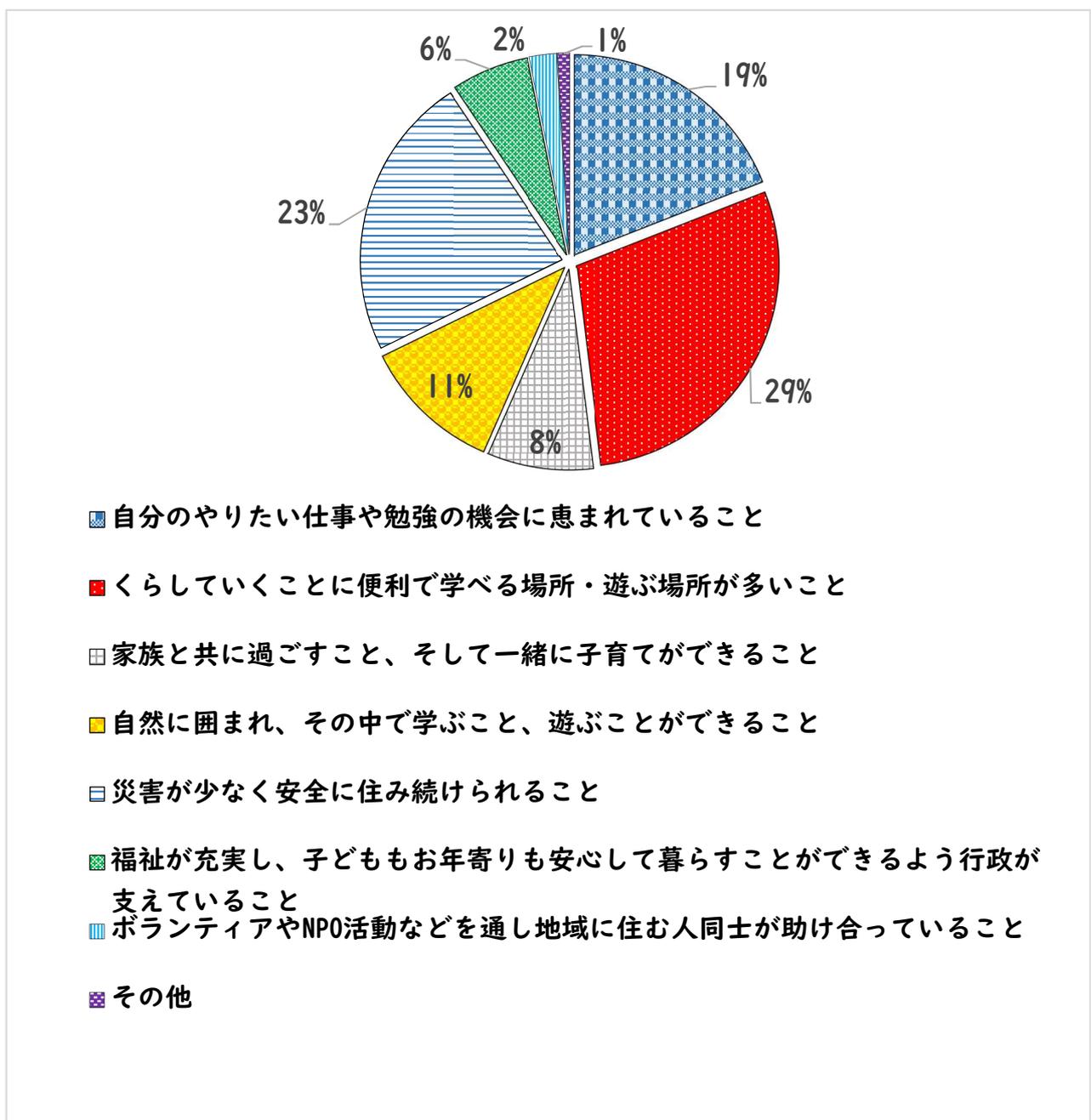
問2 あなたが思う東播磨地域の魅力はどのようなことですか。(3つまで回答)

災害が少ないこと	789人
鉄道やバス、道路などの交通インフラが充実し、移動に便利なこと	515人
自然環境が豊かであること	490人
観光客を魅了する名物やイベント、観光場所があること	353人
娯楽や文化に関する施設が多いこと（例：明石市立天文科学館、考古学博物館）	323人
歴史文化が豊かであること	318人
地域づくりへ参加する機会が多いこと	314人
子育て支援策が充実していること	306人
鉄鋼や重工業が盛んであること	236人
農業・水産業が盛んであること	169人
地域で新しいことが日々行われていること	156人
高齢者の健康づくりや子育て支援などの健康・福祉活動が盛んであること	140人
防犯活動などで安全・安心なまちづくりが進んでいること	129人
教育に熱心であり、教育機関が多いこと	119人
商工業が充実していること	67人
ビジネス活動が盛んであること	42人
その他	15人



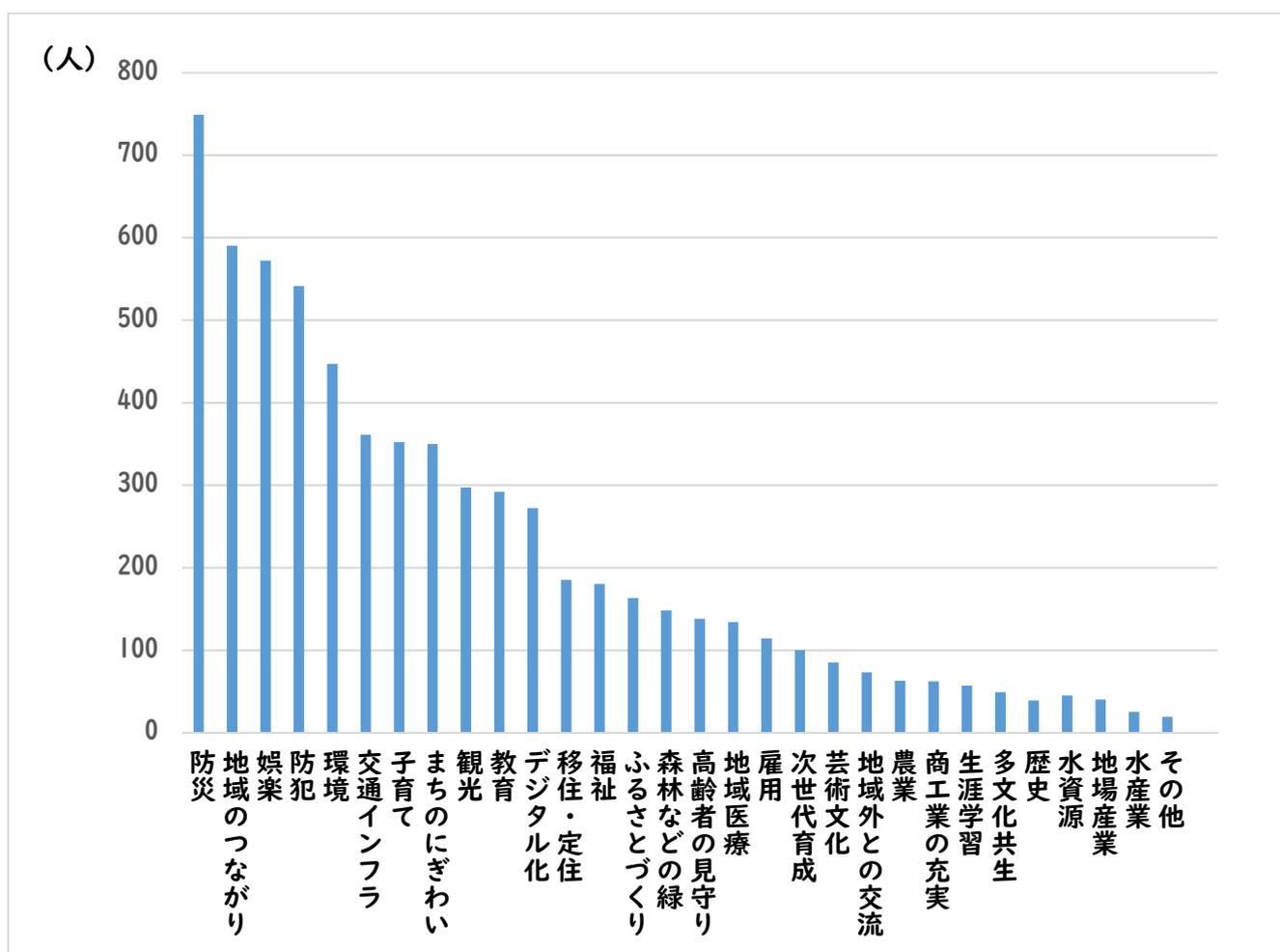
問3 現時点で、あなたが思う東播磨地域の理想の姿はどのようなものですか？

自分のやりたい仕事や勉強の機会に恵まれていること	438人
くらししていくことに便利で学べる場所・遊ぶ場所が多いこと	670人
家族と共に過ごすこと、そして一緒に子育てができること	195人
自然に囲まれ、その中で学ぶこと、遊ぶことができること	258人
災害が少なく安全に住み続けられること	529人
福祉が充実し、子どももお年寄りも安心して暮らすことができるよう行政が支えていること	143人
ボランティアやNPO活動などを通し地域に住む人同士が助け合っていること	51人
その他	21人



問4 問3で答えて頂いた理想の姿に必要なキーワードはどれですか。

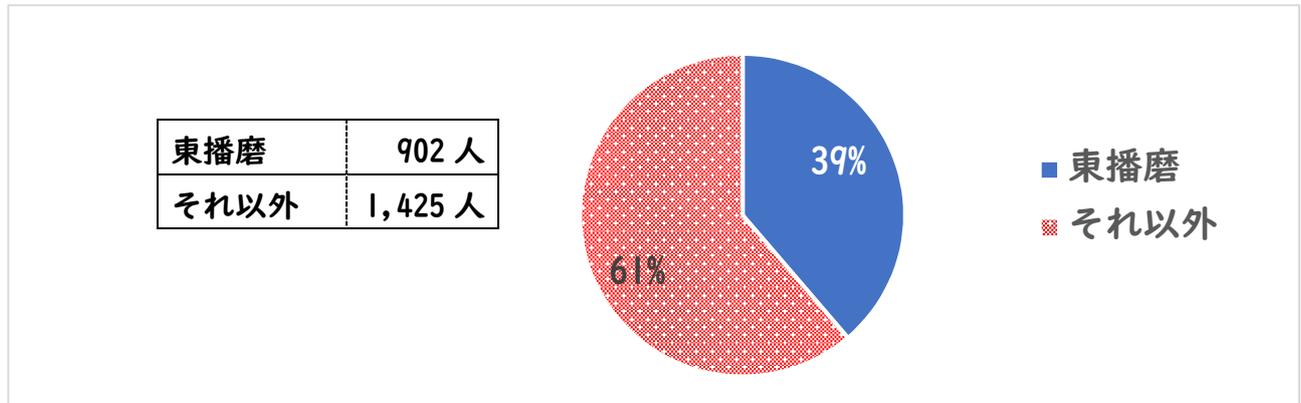
防災	749人	高齢者の見守り	138人
地域のつながり	590人	地域医療	134人
娯楽	572人	雇用	114人
防犯	541人	次世代育成	100人
子育て	352人	芸術文化	85人
まちのにぎわい	350人	地域外との交流	73人
環境	447人	農業	63人
交通インフラ	361人	商工業の充実	62人
観光	297人	生涯学習	57人
教育	292人	多文化共生	49人
デジタル化	272人	水資源	45人
移住・定住	185人	地場産業	40人
福祉	180人	歴史	39人
ふるさとづくり	163人	水産業	25人
森林などの緑	148人	その他	19人



次に、30年後の「あなた」を想定してお答えください。

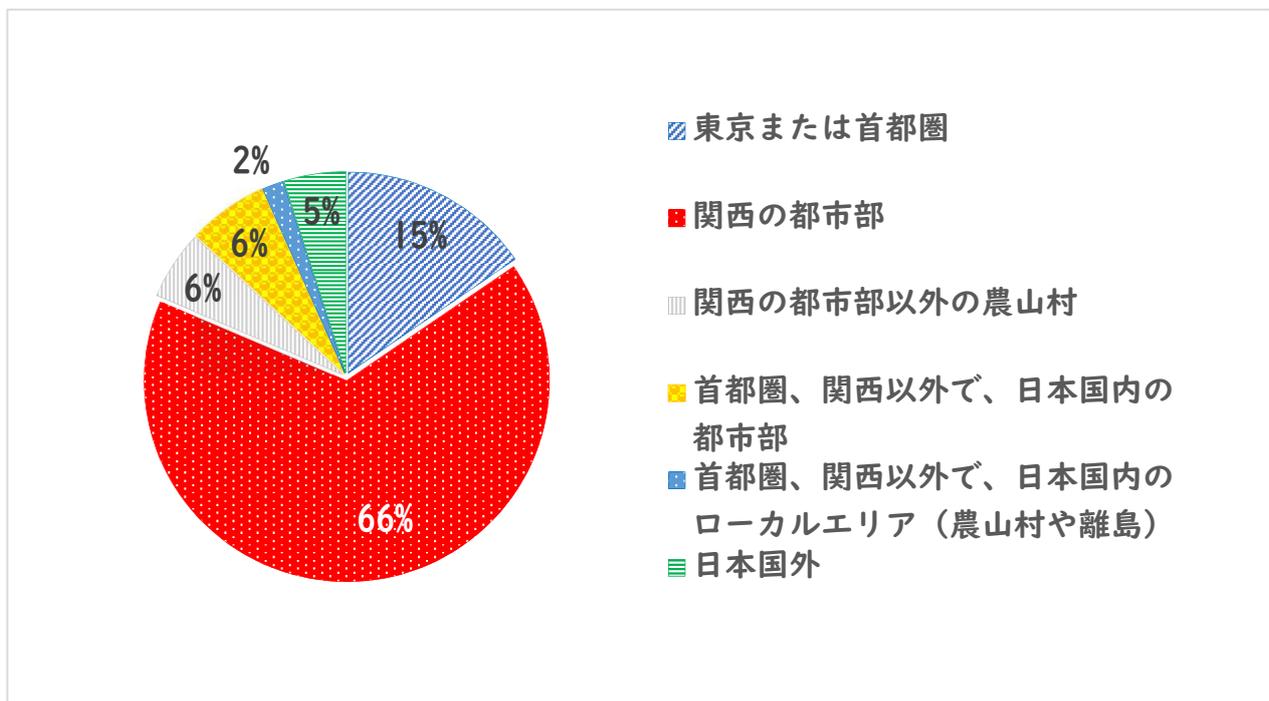
問5 30年後、あなたが生活をし、また働いている場所はどこですか？

もし、生活する場所と働く場所が異なる場合は、生活する場所を念頭にご回答ください。



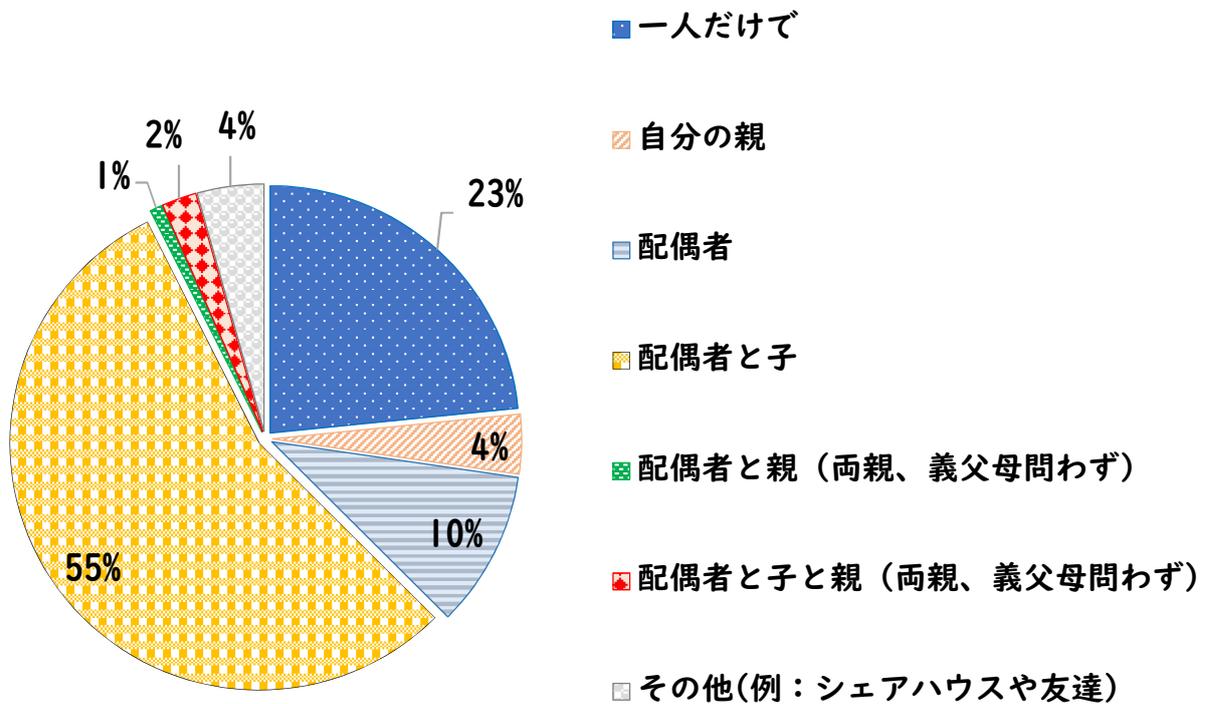
問6 問5で、「それ以外」を選んだ方にお聞きします。どこで生活をし、また働いていますか。

東京または首都圏	225人
関西の都市部	963人
関西の都市部以外の農山村	81人
首都圏、関西以外で、日本国内の都市部	93人
首都圏、関西以外で、日本国内のローカルエリア（農山村や離島）	25人
日本国外	72人



問7 30年後、あなたは誰と一緒に暮らしていますか？

一人だけで	541人
自分の親	90人
配偶者	236人
配偶者と子	1,273人
配偶者と親（両親、義父母問わず）	19人
配偶者と子と親（両親、義父母問わず）	52人
その他(例：シェアハウスや友達)	100人

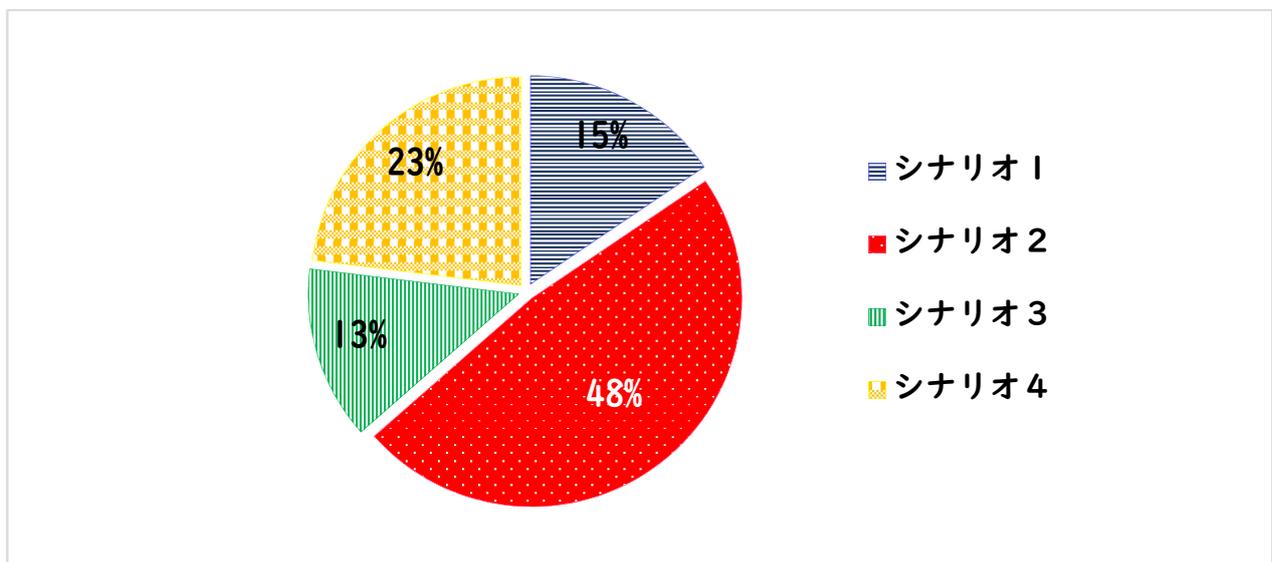


東播磨地域の30年後の姿について考えてください。

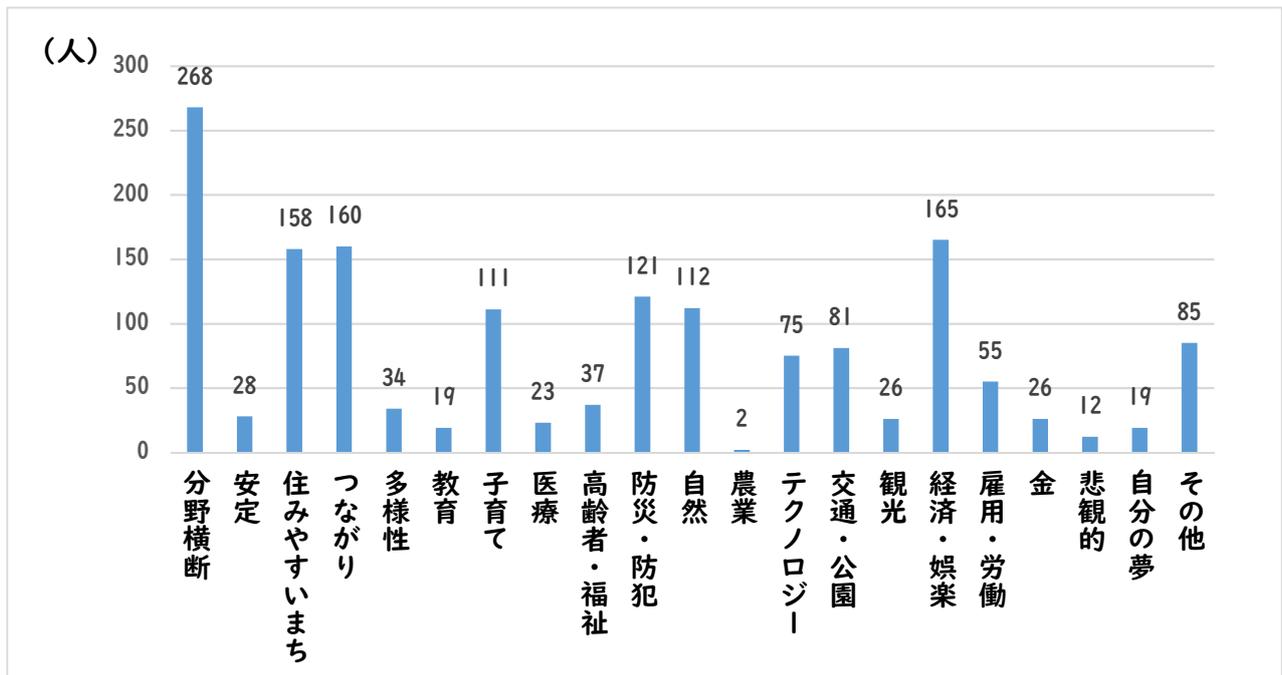
次のシナリオ1～4は、AIが東播磨の30年後を想定した姿を描いたものです。

問8-1 30年後、東播磨地域はどのような姿になっていると思いますか。

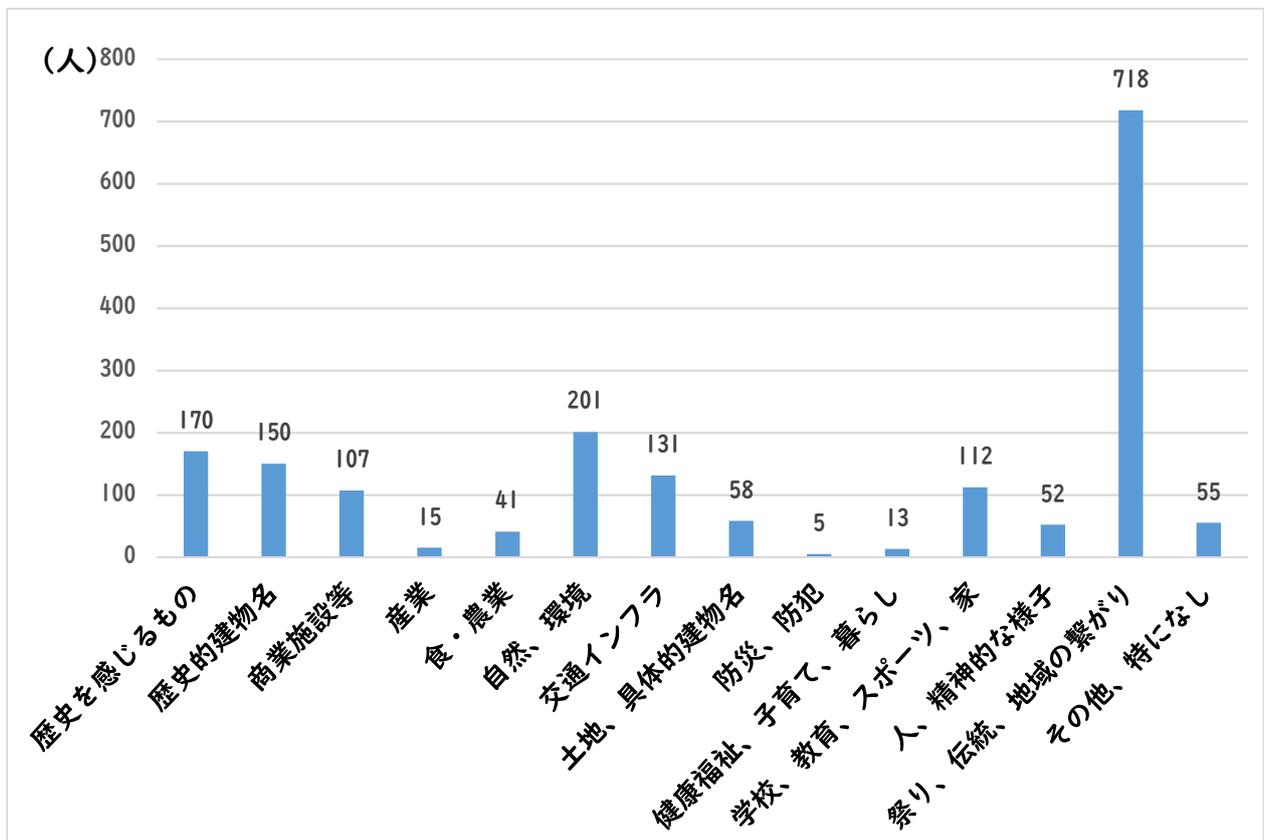
<p>シナリオ1</p> <p>経済成長を重視。活力ある新産業都市。労働力が不足気味。利便性は高くはないが新たな職を求めて人が集まる。生活基盤の整備が遅れ気味で、子育てには向かない。自分中心主義、長時間労働など労働環境は悪化。格差拡大の懸念。</p>	270人
<p>シナリオ2</p> <p>くらしやすいまちづくりを重視。住宅地域。高齢者も含む様々な家族が住む。経済はあまり成長しないが、保育所は充実していて子育てがしやすい。出生率も高く子どもも多い。地域内には福祉施設や福祉関連産業などの就職口が多く、地元で勤める人が多いが、パートなどで給与は低い。</p>	836人
<p>シナリオ3</p> <p>商工業の充実を重視。商工業地域。中小企業が多く所得は必ずしも高くない。歓楽街もあり、外国人を含め多くの人が集まる。家族や地元の仲間を大切にする中高年が多い。ただしその子ども達は真剣に学び、できれば他の地域に移って結婚、子育てをしたいと願っている。</p>	234人
<p>シナリオ4</p> <p>多世代の共生を重視。郊外地域。男女共同参画が進み、祖父母を含めた多世代での子育てが増え、出生率も回復している。高齢者の雇用も多い。穏やかな雰囲気をおよ外国人も多く居住。所得が高くゆとりある生活が可能。住宅地で緑は少ない。文化活動が盛ん。</p>	402人



問8-2 あくまで前項（問8-1）の4つのシナリオはAIが考えた30年後の姿です。30年後にみなさんが夢見る、みなさんがこうしたい理想の姿を自由に書いてください。AIを超えましょう！！



問9 30年後でも、東播磨地域に残ってほしいものは何ですか。



新しいビジョン策定に向けた検討経過

I 東播磨新地域ビジョン検討委員会会議

	開催日	内 容
第1回	令和2年 6月17日	新ビジョン策定について 方向性について
第2回	令和2年 8月18日	想定年次について 検証について
第3回	令和2年10月26日	新ビジョンの描き方・進め方について アンケート内容・作成について
第4回	令和2年12月24日	兵庫県将来構想試案(案)説明
第5回	令和3年 7月 6日	部会における検討結果について
第6回	令和3年 8月31日	骨子案・本体案について
第7回	令和3年11月 8日	本体案について
第8回	令和4年 2月18日	最終案について

○課題解決部会 会議

時 期	内 容
令和3年3月22日	課題解決・改善の方向性等に関する協議
令和3年4月28日	現状と課題・取り組みの方向性等に関する協議①
令和3年5月25日	現状と課題・取り組みの方向性等に関する協議②

○未来デザイン部会 会議

時 期	内 容
令和3年3月9日	将来像・方向性の協議 (若者アンケート調査結果、ビジョンを語る会提案、高校生による提案活用、東播磨地域の将来像に関するアンケート調査結果、兵庫県将来構想試案資料等)
令和3年4月13日	理念、将来像、方向性、取組等に関する協議①
令和3年5月13日	理念、将来像、方向性、取組等に関する協議②

2 県民参加による意見交換

令和2年度 ビジョンを語る会

開催日	参加者
令和2年 9月 8日	高砂商工会議所青年部
令和2年 9月 11日	若手事業家
令和2年 9月 17日	農業協同組合（明石、兵庫南、加古川南）
令和2年 12月 11日	高砂商工会議所メンバー
令和2年 12月 25日	東播磨地域若手経営者

令和3年度 ビジョンを語る会

開催日	参加者	テーマ
令和3年 6月 29日	東播磨高校特色類型1年生	東播磨地域を知る
	東播磨高校特色類型2年生	東播磨地域探究

地域デザイン会議(提案発表の活用)

開催日	参加者	テーマ
令和2年 10月 21日	県立播磨南高等学校	播磨町のまちづくり探究
令和2年 11月 12日	県立東播工業高等学校	わたしたちが考えるハリマのみち
令和2年 11月 16日	県立東播磨高等学校	探究グループとの意見交換会
令和2年 12月 23日	県立加古川東高等学校	加古川市の地域デザインを考えよう
令和3年 1月 13日	県立農業高等学校	「ひょうごの農」に提案する会

東播磨地域未来フォーラム

開催日	テーマ
令和3年 8月 8日(令和2年度分)	未来をつくるのはあなたです
令和3年 11月 20日	2050年東播磨地域の未来について

東播磨新地域ビジョン検討委員会委員

(任期：令和2年5月18日～令和4年3月31日)

氏 名	職 名 等	備 考
田端 和彦	兵庫大学 副学長 東播磨地域ビジョン委員会専門委員	委員長
瀧本 眞一	兵庫大学 名誉教授 第9期東播磨地域ビジョン委員会委員長 東播磨地域ビジョン委員会専門委員	
相川 康子	特定非営利活動法人NPO政策研究所専務理事 東播磨地域ビジョン委員会専門委員	
和田 真理子	兵庫県立大学国際商経学部 准教授 東播磨地域ビジョン委員会専門委員	
富木 攻	富木営農組合組合長、富木地区環境保全協議会会長、東播磨地域ビジョン委員会委員OB	
畠山 恵子	兵庫県地球温暖化防止活動推進員東播磨地域連絡会会長、東播磨地域ビジョン委員会委員OB	
大川 保	第10期東播磨地域ビジョン委員会委員長	
西本 祐子	第10期東播磨地域ビジョン委員会副委員長	
小林 大輔	第10期東播磨地域ビジョン委員会委員	
明石市	政策局 SDGs 推進室	
加古川市	企画部政策企画課	
高砂市	政策部経営企画室企画課	
稲美町	経営政策部企画課	
播磨町	企画グループ	